

斥派ノ擡頭アリ蔣介石ハ此後顧ノ憂アルカ為ニ孫伝芳ノ江西援軍ノ未タ湖南ニ入ラサル以前ニ乾坤一擲ノ輸贏ヲ武昌城頭ニ試ムルノ決心ナリシナランモ北軍中仍ホ猛雄其人ニ乏シカラス爾ク赤軍ヲシテ易々武漢ノ鎮鑰ヲ蹂躪セシムルコトハ到底不可能ト愚考致居候右ニ就テ武昌官礮局督弁陸軍大將孫武ハ先般以來屢々軍銃速射砲五六千個ノ正式買入方ヲ小官迄懇願致居り候処其都度小官ハ我政府ハ貴国内訖ニ就テハ南北孰レヘモ不干渉主義貫徹致居候儀ニテ御依囑ノ事件ハ到底上申スルモ何等効力無之儀ト御承知相成度旨再三先方ニ対シ婉拒致置候間此段御参考ニ供候也

一一五九 九月二日 在奉天吉田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

仏国公使来奉ノ目的等ニ関シ申進ノ件

第二六五号

当地特務機關側ヨリノ情報ニ依レハ仏国公使「マルテル」来奉ノ目的ハ中仏商工銀行開店ノ為其他一般の挨拶ノ為ナリトノコトナルモ実ハ奉天側ニ対シハ飛行機五十台売却ノ件当地無線電信及兵工廠視察等ニ在ルモノノ如ク或ハ金法問題ヲ何等カノ意味ニ於テ張作霖ニ理解セシメ仏支条約改

訂ニ利用セムトノ魂胆アルヤノ噂アルモ真偽未タ確メ難シ(往信機密第六七四号参照)

猶于沖漢ノ駐日公使説ハ楊宇霆ニ於テ其希望アルモ同人ハ吸引者ナル為其点ヲ懸念シ居レリトノコトナリ
北京へ転電セリ

一一六〇 九月十八日(着) 在上海矢田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

温宗葵、孫伝芳ノ意ヲ受ケ本邦ヨリ彈藥供給
方申入レノ件

第二六七号

十六日温宗葵来訪孫伝芳ノ意ヲ受ケタリトテ日本ヨリ彈藥ノ供給ヲ受ケ度カ右可能ナリヤト相談ヲ持チ掛ケタルニ付右ハ往電第二六五号丁文江ノ言ト矛盾スル旨ヲ指摘シタル処丁ハ学者ナレハ孫ニ於テモ此ノ種ノ事ニ付テハ其実ヲ打明ケサル次第ナリ戰爭短期間内ニ濟メハ差支無キモ若シ永引ク時ハ不足ヲ生スヘシト答ヘタルカスノ如キ事ヲ本官ニ持込マルル事才門違ナルヘク又確然タル申込ニハ別段意見モ述ヘラレスト返答シ置ケリ

同人ハ英國總領事館ニ屢々出入シ居ル由ニ付往電第二六一

号英國總領事ニ申出タルモノト同一人ナルヘシト察セラルル処同人ノ社会的地位ニモ鑑ミ万更出鱈目ニモ非サルヘキモ為念岡村中佐等陸軍側ニ聞合セタルニ何等右様ノ話ハ句ハサレタル事モ無シトノ事ナルニ付或ハ英國總領事ニ意ヲ含メラレ当方意向ヲ探リニ来レルモノナルヤモ計ラレス為念

在支公使、天津、奉天、漢口へ転電シ南京、蘇州、杭州へ暗送セリ

(2) 万県事件

一一六一 八月四日 在重慶後藤領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

日清汽船楊森軍兵士ノ無賃乗船甚ダシキタメ
万県等ニ停船セザル方針ヲ実施ノトコロ同軍
兵士江岸ヨリ射撃セル件

第二九号

(八月八日接受)

本官發万県出張員宛テ電報左ノ通り

第二号

近来楊森所屬兵ノ無賃乗船甚ダシキタメ日清汽船会社ニ於

一〇 雜件 一一六一 一二六二

テハ毎航海至大ノ障碍ヲ受ケツツアルニ顧ミ其ノ障碍ヲ避クル為メ万県其ノ他ニ停船セサル方針ヲ採ルコトナリ八月二日雲陽丸ヨリ右方針ヲ実施シ貴地ニ停船セサリシニ原因セルモノカ同船二日正午涪州通過ニ当リ同地支那兵江岸ニ散兵シ同船ヲ要撃シ数千発ノ射撃ヲ加ヘ乗組員数名ヲ傷ケ船体ニ三百発余リノ彈痕ヲ見タリ右ニ対シ貴官ハ不取敢楊森ニ対シ其ノ事由ヲ詰問シ同時ニ本官ノ訓令トシテ嚴重抗議ヲ提起シ何分ノ儀回電アリタシ

大臣、公使、漢口、上海、宜昌へ転電セリ

一一六二 八月四日 在重慶後藤領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

楊森側ハ万県ニ停船セザルニ対シ誤解ヲ抱キ
報復手段ニ出デオウルニツキ今後ハ同地ニ停泊
方会社へ命令アリタキ件

第三〇号

(八月十二日接受)

八月二日正午日清汽船会社雲陽丸涪州通過ニ当リ同地支那軍隊ノ為数千発ノ射撃ヲ受ケ乗組員支那人三名負傷シ船体ニ三百五十余ノ彈痕ヲ加ヘラレタルヲ以テ不取敢万県出張員ニ対シ往電第二九号ノ通り楊森總司令ニ嚴重抗議方命シ

一四二九

置ケリ

斯ル事件ノ發生ヲ見タル原因ハ從來万県ニ碇泊シ来レル同船カ同地ニ於ケル支那軍隊ノ無賃乗船ヲ免ルル為特ニ停船セサリシヲ楊森側ニ於テハ之ヲ以テ劉湘側ノ武器密輸ヲ援助スルモノトノ猜疑ヲ抱キ旁軍隊ノ乗船ヲナシ得サリシヲ遺恨トシテ其報復手段ニ出テタルモノト思考ス然ルニ四川省現下ノ状況ヨリ案スルニ楊森ト劉湘トノ合作成ラサル限リ楊森ハ日清汽船カ劉湘ヲ援助スルモノトノ疑ヲ解セサルヘク從テ日清汽船ハ今後万県ニ於テ停船ノ上支那側ノ検査ヲ經サル限り同様不法行為ヲ繰返スモノト察セラルルニ付会社側ニ対シ從來通り万県ニ停船セシムル様御命令相成度尚楊森側ノ誤解ヲ解キ会社側今後ノ障礙ヲ免レシムル為場合ニ依リテハ本官万県ヘ出張致スヘク予メ御承認アリタシ北京、上海、漢口、長沙ヘ転電セリ

一一六三 八月十三日 在重慶後藤領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

日本汽船ノ航行安全ニ関シ楊森總司令ト交渉

ノタメ万県出張ノ件

第三一号

ツツアル実状ナレハ何等ノ実力ヲ有セサル汽船ハ實際上其検査ニ反対シ能サルナリ從テ各国トモ右実状ニ顧ミ已無ク斯ル違約ノ不法行為ニ委ネ其検査ニ服シツツアリシ關係上其検査ハ今ヤ一種ノ慣例トナリ居レル耳ナラス一方支那側ヲシテ汽船ニ依リ武器ノ密輸ヲ行フトノ疑念ヲ免ルルト同時ニ汽船ノ航行上ニ於ケル各種障礙ト不安ヲ除カン意図ヨリ法理上面白カラサル義ト思量シタルモ實際上ノ利益ヲ顧念シ今般事件解決ニ當リ楊森ニ対シ万県ニ於ケル検査所ノ検査ニハ当分ノ間実施ニ反対セスト言明シタル所以ナリ尚詳細ハ機密第二〇四号及第二〇九号拙信ニ依リ御了承ヲ請フ

一一六五 九月一日 在宜昌蒲川領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

雲陽ニ於ケル楊森軍ト英側トノ軋轢ニ鑑ミ在

留民保護ノ対策ヲ執リタル件

第一二号

(九月十三日接受)

万県伊地知来電左ノ通り

第八号

二十九日雲陽県ニテ楊森部下兵士数十名英船万流号ニ強制

一〇 雜件 一一六五 一一六六

往電第三〇号ニ関シ

当地万県間ノ航行尚危險ノ域ヲ脱セサル趣ニ付本官雲陽丸ニテ軍艦鳥羽援護ノ下ニ万県ヘ出張シ不取敢帝國汽船航行ノ安全ヲ図ル為メ楊森總司令ニ交渉致スヘキニ付御承認ヲ請フ

北京、上海、漢口、長沙ヘ転電セリ

一一六四 八月二十二日 在重慶後藤領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

楊森ニ対シ万県ニ於テ当分ノ間軍憲ノ臨検実

施ニ反対セザル旨言明セシ事由報告ノ件

第三四号

(八月二十八日接受)

貴電第二三三号ニ関シ

万県ニ於ケル検査所ノ検査ハ全然軍憲ノ手ニ依リ行ハレツツアルモノニシテ從來各国汽船トモ等シク其検査ヲ受ケ来レリ然ルニ今次雲陽丸ハ此慣例ヲ破リ万県ヲ素通りシタル結果遂ニ狙撃事件ノ發生ヲ見ルニ至リシ次第ニシテ税関ニ非ル軍憲カ各国汽船ヲ検査スルハ勿論理論上不都合極力行為ナレトモ、サリトテ四川省現在ノ如キ群雄割拠シ自家擁護ノ為ニハ毫モ条約ノ規定ナク敢テ直接武力的行為ニ訴ヘ

の二乗船シ更ニ二隻ノ民船ニ乗レル支那兵数十名乗船セントシタルモ同船ハ其ノ儘溯江シ万県ニテ支那兵ヲ在泊中ノ英艦 Cockchafer ニ渡シ溯江シタルカ支那側ハ前記民船二隻浪沈シ兵士数十名溺死シ軍用金数万元ヲ流失セリト称シ折柄入港セル万県万通ノ二英船二百余名ノ兵士ヲ派シテ拘留シ英艦トモ一切交通ヲ遮断セリ英艦長ノ態度又強硬ニテ昨夜勢多艦長ニ対シ今明日中ニ支那兵カ英船ヨリ下ラサル中ハ該船及万県市街ヲ砲撃スル決心ナリト語リタルニ依リ小官ハ勢多艦長ト協議シ本日中ニ在留民ヲ同艦ニ收容スルコトトシ尚本朝楊森ヲ訪問シ避難後邦人財産ノ保護ヲ依頼シタルニ同人ハ之ヲ快諾シ人ヲ派シテ責任ヲ以テ保護スル旨言明セリ詳細今朝出帆ノ宜陽丸船長ニ伝言依頼シタ目下在留民十六名ニテ内二名避難ノ意志ナシ

重慶ニ転電セリ本省、北京其ノ他ニ転電請フ

北京ヘ転電シ漢口ニ郵報セリ

一一六六 九月一日 在宜昌蒲川領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

楊森軍ト英側トノ対立緊迫ノタメ在留邦人勢

多艦ニ收容ノ件

一四三一

第三一号

(九月二日接受)

万県ニ於テ「バターフィールド」汽船万県号ニ支那兵乗込ミ退船ヲ肯セス同船出帆ヲ延ハシ居ル内同社船万流号亦上江ノ際雲陽県ニテ支那兵乗込ミ来レルヲ拒絶セムトシテ廻転セムトセル際後續支那兵ノ舢舨ヲ転覆セシメタル事件ニ依リ楊森ノ激怒ヲ招キ万県ニテ同社汽船二隻ヲ兵員乗込ノ儘抑留シ楊森ハ沿岸ニ砲四門約五千ノ兵ヲ配置セリ在泊英艦亦之ニ対シ戰鬪準備ヲ為シ九月一日迄ニ退船セサレハ発砲ノ決意ナル旨在泊勢多艦長ニ告知アリタルニ依リ同地在留邦人ハ三十一日午後五時迄ニ一同勢多ニ引揚ノ筈ナル趣ニテ三十一日朝同地出帆同日午後四時当地入港ノ宜陽丸船長ニ托シ目下同地電報遅延ノ虞アルニ依リ右事情電報方伊地知ヨリ依頼アリタリ

北京、漢口ニ転電シ重慶へ暗送セリ

一一六七 九月一日

在重慶後藤領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

雲陽ニ於ケル兵士溺死事件及ビ万県ニ於ケル

楊森軍ノ英国船抑留ニ関スル件

第三五号

(九月十四日接受)

第九号

往電第八号ニ関シ

既報ノ通り英艦長ノ希望ニ依リ三十一日夕刻在留邦人ハ軍艦勢多ニ避難シタルカ一方在重慶英国領事来万シ楊森ト交渉中同夜英艦長ヨリ申出アリタルニ付避難者ハ全部二日自宅ニ帰リタリ

重慶ニ転電セリ大臣、北京、其他ニ転電

北京ニ転電シ漢口ニ郵送セリ

一一六九 九月六日

在重慶後藤領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

万県事件ニ関スル楊森ヨリ英国側ニ提出ノ要

求条件ニツキ情報報告ノ件

第三七号(延着)

(九月十九日接受)

往電第三六号ニ関シ

楊森ヨリ英国領事ニ対スル要求条件ハ

(一)損害銀四十万円ヲ賠償スルコト

(二)汽船万隆号^(注)船長及英国軍艦々長ヲ微罰スル事

(三)英国汽船航行中客船及郵便船ニ会シタル場合ハ二十分間停船スルコト

万県碇泊軍艦勢多ノ無^{線電信?}(脱)八月二十九日英国汽船万流号ハ雲陽県ニ於テ支那軍隊ノ乗船ヲ強要サレ其ノ一部(約三十名)乗船シ一部未タ乗船セサル間ニ出航シタル為メ約三十五名ノ兵ヲ乗セタル民船沈没シタル由ニテ該船ノ万県へ入港スルヤ楊森ハ兵ヲ派シ右事件ノ解決ヲ迫リタルニ同地英国軍艦ハ威嚇的ニ機関銃十数發発射シタルヲ以テ船中ノ兵ハ全部下船シタル処其ノ隙ニ乗シ万流号ハ出航シタリ右ニ関シ楊森ハ非常ニ憤リ江岸一帶ニ軍隊ヲ配置シ同時ニ上流各地ニ万流号ノ武力的拘留ヲ電命セリ尚ホ同日万県ニ入港セル英国船万通号及万県号ノ二隻ヲ兵力ニテ抑留シタルニ依リ英国軍艦ハ支那兵ノ下船並ニ右汽船ノ釈放ヲセサル場合ハ万県市街ヲ砲撃スヘシト通告セリ在留邦人ハ軍艦勢多ニ避難スルコトナレリ

北京へ転電セリ

一一六八 九月三日

在宜昌蒲川領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

勢多艦ニ避難シタル在留邦人帰宅ノ件

第三四号

(九月十三日接受)

万県伊地知来電左ノ通

四英国政府ヨリ右三項ヲ正式承認スルコト

以上四項ニシテ排英風潮ハ益昂張シツツアリ公使漢口へ転電セリ

一一七〇 九月六日

在重慶後藤領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

万県ニテ英砲艦ト楊森軍ト交戦シ英艦市街ヲ

砲撃ノ件

第三八号(延着)

(九月十九日接受)

宜昌発大臣宛電報第三五号ニ関シ

(一)英国汽船嘉禾ハ武装ノ儘五日午後五時万県ニ入航スルヤ兩岸ノ支那兵ト英国船艦トノ間ニ交戦起リ英国軍艦ハ市街各所ヲ砲撃シ市街ハ為ニ火災ヲ起セリ

(二)英国汽船万通号及万県号ハ其ノ儘放棄シテ英国軍艦ハ砲撃シツツ闢ヲ衝イテ下江セリ

(三)帝国軍艦勢多付近ニ砲彈十数發落下セルモ幸ニ損傷ナシ

(四)在留本邦人ハ往電第三六号ノ通一時危険去リタル為夫々

帰宅セシメタルカ今次ノ交戦ハ突発的ナリシヲ以テ遂ニ

之ヲ收容シ得サリシ趣ニ付損害ノ有無取調中

公使、漢口、上海、宜昌へ転電セリ

一一七一 九月七日 在重慶後藤領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

万県在留邦人無事ナルモ今次事件ガ一般的排
外運動ニ転化スル惧レアリト認メラルル件

第三九号

(九月十九日接受)

往電第三八号ニ関シ

(一)万県在留本邦人全部無事ナルヲ得タルモ日清汽船会社出
張所ハ砲彈ノ為破壊セラレタリ

(二)交渉ノ為万県へ出張中ノ当地英国領事ハ当時英国軍艦上
ニアリシ由、軍艦ト共ニ下江シタルモノト察セラル

(三)支那官民ハ本件英国側行動ニ憤慨シ排英の風潮ハ頓ニ高
調シ来レルヲ以テ在留英人ハ勿論各国民トモ客年排外運
動ニ鑑ミ最早避難準備ヲナス者アルニ至レリ

(四)今次事件ハ英支ノ問題ナルモ之ヲ動機ニ排英ヲ中心トシ
テ一般的排外運動ニ転化シ拡大スルノ惧アリ
右不取敢北京、上海、漢口へ転電セリ

一一七二 九月八日 在重慶後藤領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

英艦四隻湘江シ万県砲撃ストノ趣ニツキ在留

スルヤ予測シ難キ実況ナリ
北京、上海、漢口、宜昌へ転電セリ

一一七四 九月九日 幣原外務大臣ヨリ
在漢口高尾総領事宛(電報)

万県ニ於ケル中英衝突事件ニツキ日本側ノ幹
旋希望ノ有無ヲ英国総領事ニ打診方訓令ノ件

第五八号

上海八日發連合ニ依レハ英国軍艦四隻万県ニ於テ楊森軍ト
交戦シ双方相当ノ損害ヲ被リタル趣ノ処此ノ事態ハ之ヲ成
行ニ任セ傍觀スルニ於テハ万県方面邦人ノ安全ヲ脅威セラ
ルルハ勿論英国ト支那軍隊トノ惡感情及衝突ノ危險長江一
帶ニ瀰漫シ如何ナル結果ヲ来スヤ測リ知ルヘカラサル次第
ナルカ目下之処英支何レモ感情ニ驅ラレ居リ直接接洽妥結
ヲ計リ難キ形勢ナルヤニ認メラルルニ付テハ此ノ際ハ局外
者タル重慶帝國領事ヲシテ英支ノ間ニ斡旋シ双方ノ面目ヲ
傷ケス且日本自ラ渦中ニ投スルニ至ルノ危險ナキ方法ニ依
リ妥結ノ途ヲ講セシムルコトヲ得ハ各方面ニ取りテ有利ト
思考セラルルヲ以テ貴官ハ在貴地英国総領事ニ面談ノ上万
県ニ於ケル英支間ノ紛擾ニ関シテハ從來屢々同様ノ面倒ニ

邦人等我が軍艦ニ收容ノ件

第四一号

(九月十九日接受)

往電第三九号ニ関シ

宜昌方面ノ情報ニ依レハ英国軍艦四隻ハ更ニ上江シ万県ヲ
砲撃スルトノ趣ニ付万一ヲ考慮シ万県在留本邦人ハ帝國軍
艦ニ收容セリ尚ホ万県在留英人九名モ亦收容セリ
在支公使、上海、漢口、宜昌へ転電セリ

一一七三 九月八日 在重慶後藤領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

楊森ニ対シ日本軍艦ガ英艦ヲ援ケテ万県ヲ砲
撃セリトノ新聞記事取消シヲ要求ノ件

第四三号

(九月十九日接受)

往電第三八号ニ関シ

当地發行ノ各新聞ハ筆ヲ揃ヘテ日本軍艦ハ英国軍艦ヲ幫助
シテ万県ヲ砲撃セリトノ記事ヲ掲ケ日英ノ国交断絶ヲ絶叫
シタルヲ以テ本官ハ支那側当局ヲシテ右記事ヲ取消サシム
ルト同時ニ楊森ヲシテ右ハ事實ニ非サル旨ヲ各機関ニ通電
セシメタリサレト当地支那人ノ風潮ハ兎角日英帝國主義ヲ
打破スヘシトノ氣風アルヲ以テ今次事件カ何ノ程度迄進展

付苦キ經驗ヲ嘗メタル日本トシテ英国ノ立場ニ同情ヲ有ス
ル次第ナルカ支那ニ対シテハ日本自ラ極メテ機微ナル立場
ニ在ル現状ニ顧ミ武力ニ依リ英国ノ行動ニ協力スルカ如キ
ハ日英双方ニ取りテ不得策ト信セラルルニ付之ヲ避クノ外
ナク其辺ノ事情ハ英国総領事ニ於テモ十分諒察セラルル所
ナルヘキモ日本ハ多年ノ友邦ニ対スル情誼上若シ何等カ他
ノ平和的方法ニテ英国ノ困難ナル事態解決ニ付日本ノ尽力
シ得ル途アラハ遠慮ナク申入アリタシトテ英国総領事ノ希
望ヲ確メラレ其ノ希望次第ニ依リテハ本電ノ趣旨ニ依リ在
重慶領事ヲ指導シ英支間ニ適當ナル好意的斡旋ヲ為ス様本
大臣ノ訓令トシテ打電アリタシ尚右会谈ニ際シ成ルヘク英
国側ノ対支感情ヲ緩和スル様意ヲ用ヒラレタシ英総領事ト
ノ応答振リハ折返シ回電アレ
右本大臣ノ訓令トシテ重慶へ転電アリ度シ
北京、上海へ転電セリ

一一七五 九月九日(着) 在英国松井大使ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

万県ニ於ケル英船拿捕事件經過ニ関スル英国
外務省ステートメント報告ノ件

第一五九号

万県英船拿捕事件經過ニ関シ英外務省ノ「ステイトメン
ト」八日公表サル要領左ノ通り

八月二十九日英船 Wanlu 雲陽着ノ際支那兵乗船シ且ツ兵
士ヲ満載セル舳板近ツキ来ルト共ニ兩岸ヨリ発砲ヲ受ケタ
リ此ノ混乱ノ内ニ更ニ他ノ舳板同船ニ接近セントシテ他船
ト衝突沈没セリ翌三十日吳佩孚ノ將楊森ハ右沈没ニ対スル
報復トシテ万県ニ於テ英船 Wantung Wanhien ノ二隻ヲ
拿捕シ三百人ノ兵士ヲ乗船セシム右二隻ハ英砲艦 Cock-
chafer ニ並ヒ投錨シタルカ支那兵ハ同艦ニ砲口ヲ向ケテ
陣取り且ツ楊森ハ同艦指揮官トノ商議ヲ拒絶セリ在支英公
使ハ呉ニ対シ楊ニ其ノ兵士ヲ撤退スル様訓電方ヲ求メ又重
慶領事ハ万県ニ赴キ楊ト会见シタルモ楊ノ態度頑強ニシテ
事件ノ真相如何ニ拘ハラス英船会社ヨリ賠償ヲ得ルコトヲ
条件トスルニアラサレハ軍隊ヲ撤退セスト云ヘリ公使ハ右
報告ニ接シ左ノ条件ニテ拿捕船ノ釈放方楊ト談判スヘキ旨
領事ニ訓令セリ
(一)舳板沈没事情ノ調査
(二)英船員ノ釈放及支那兵ノ撤退並ニ Wanlu 到着迄拿捕船

漢口發貴大臣宛電報

第二四九号

貴電合第一六九号ニ関シ

重慶發閣下宛電報第三六号ニ関シ

其後ノ情况ヲ綜合スルニ英国海軍ハ砲艦「ウイジョン」及
「コクチェファ」二隻及ヒ宜昌ニ於テ特ニ備給セル汽船
嘉禾ヲ武装シテ楊森カ抑留中ノ英汽船二艘ヲ奪回セントシ
九月五日夜先ツ該各船ニ付キ船員(支那人ヲ含ム)ヲ收容
ノ上更ニ乗船中ノ楊森軍隊ノ武装解除ヲ為サシムル計画ヲ
以テ嘉禾ヲシテ接近セシメントシタルニ万県号ノ砲火甚タ
シキ為万通号ノ外国人船員ハ水中ニ飛入リテ漸ク逃レタル
程ニシテ(機関長ハ溺死セリ)勿論奪回ノ目的ヲ達セス且
ツ両軍ノ間ニ相当激烈ナル砲撃アリシモノノ如ク万県市街
ハ目下火災ニ包マレ居リ英国側ハ死傷十余名アリ指揮官
(当港碇泊中ノ「デスパッチ」副長)ノ死骸ハ万県号ニ遺
棄スルノ已ヲ得サルニ至ルト尚英国海軍ハ近ク再挙ヲ計リ
其目的ヲ達スル筈ナリト云フ本邦人ノ安危ニ関シテハ何等
情報ナシ

更ニ英国砲艦「スカラブ」ハ九月二日商船護送上航中贛江

ヲ英砲艦ニ監視セシムルコト

(三)裁判所又ハ仲裁々判ノ設定アル迄相互ニ協定セラルヘキ
金額ヲ供託スルコト

右提議ニ拘ハラス楊ハ頑強ニシテ挑戰のナリシト共ニ拿捕
英船及砲艦ノ危険且ツ屈辱のナル地位ニ鑑ミ英艦 Widge-
on 及海軍枝隊ノ乗組メル英船 Kinwo ハ既ニ最後ノ手段
トシテ武力使用ノ権限ヲ与ヘラレタリ九月五日海軍士官ハ
拿捕英船及六人ノ船員ノ救出ヲ企テタルモ野砲及小銃ノ攻
撃ヲ受ケ退却セリ船長一名脱出シタルカ如キモ他ノ五名ノ
船員ニ付テハ何等報道ナシ

編註 右來電要領ハ同月十日幣原外務大臣ヨリ合第一七三号ヲ
以テ在中國堀臨時代理公使、在上海矢田總領事ヘ發電シ
在漢口高尾總領事ニモ転電サレタ。

一一七六 九月九日 在九江大和久領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

英国海軍ガ楊森軍ノ抑留セル英汽船ノ奪回ヲ
計リ失敗シタル旨並ビニ英艦ノ砲撃ニヨリ万
県市街炎上ノ件

第二〇号 (九月十三日接受)

上流ニ於テ南軍ノ砲撃ニ応射シタルコトアリ本八日「ピ
ー」ハ当地下流ニ於テ重油補給ノ上引返ヘシノ途上又南軍
ヨリ砲撃セラレタルカ船体ニ命中シタルモ機関銃ニヨリ応
射シツツ英租界前ニ引上ケタリ我砲艦堅田モ亦今朝日清汽
船四隻ヲ護衛シテ午前六時上航ノ途次大別山砲台ヨリ武昌
ヲ砲撃スル南軍ノ流彈ヲ浴ヒ引返ヘセリ何等損害ナシ右ニ
付テハ司令官ト協議ノ上成ルヘク穩便ニ解決スル筈
在支公使、広東、長沙、宜昌ヘ転電セリ

一一七七 九月十日 幣原外務大臣ヨリ
在英國松井、在米國松平各大使宛
(電報)

万県ニ於ケル中英衝突事件ニツキ在重慶領事
ヲシテ斡旋方在漢口總領事ニ訓令シタル件

第一七四号

万県ニ於テ英国軍艦ト楊森軍トノ衝突等同方面最近ノ事態
ハ邦人ノ安全ヲ脅威スルノミナラス英国ト支那軍隊トノ惡
感情ヲ長江一帶ニ瀰漫シ如何ナル結果ヲ来スヤ測リ知ル可
ラサルニ付テハ此ノ際重慶帝國領事ヲシテ英支ノ間ニ斡旋
シ双方ノ面目ヲ傷ケス且日本自ラ渦中ニ投スルニ至ルノ危

險ナキ方法ニ依リ妥結ノ途ヲ講セシムルコトヲ得ハ各方面ニ取リテ有利ナリト思考シ先ツ漢口帝國總領事ヲシテ同地英國總領事ニ対シ帝國側ニ於テ何等カ平和の方法ニテ英國ノ困難ナル事態解決ニ付尽力シ得ル途アラハ遠慮ナク申出ラレタキ旨ヲ申入レシメ英國總領事ノ希望次第ニテ在重慶帝國領事ヲシテ右ノ趣旨ニ依リ好意的斡旋ヲナサシムル様
在漢口總領事ニ訓電セリ

一一七八 九月十日 在重慶後藤領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

万県事件ノ中英交渉ニ於ケル双方ノ解決条件

ニツキ報告ノ件

第四四号

(九月二十三日接受)

万県事件ニ関シ楊森ハ吳佩孚ノ勸告ニ依リ平和解決ニ傾キ宜昌ニ於ケル盧金山ノ調停ヲ待ツコトトシ

英國海軍側ヨリ提出セル条件ハ(一)目下支那側ニ於テ抑留中ノ万県万通ノ二汽船ヲ釈放スルコト(二)長江上流ニ於ケル英國汽船ハ完全ニ何等ノ干渉ヲ受ケサルコトヲ保障スルコト(三)万県号及万通号抑留ニ依リ生シタル損害ヲ賠償スルコト
楊森側ノ提出セル条件ハ(一)万県万通ノ二汽船ハ第三者ノ手

ヲ經テ返還ス但シ英國船ニ依リ浪沈セラレタル人命財産ニ対スル損害ヲ賠償スルコト(二)英國船ノ航行ハ各国汽船ト同等ノ待遇ヲ付与ス(三)万県市街砲撃ニ依リ生シタル全損害ヲ賠償スルコト(四)事件ニ直接關係セシ英國軍艦乗組員ハ悉ク懲罰ニ付シ並ニ英國政府ハ我政府ニ謝罪スルコト

右ニ対シ当地官民及各法團ハ楊森ノ交渉軟弱ヲ不滿トシテ該条件ノ否認ヲ声明スルト同時ニ楊森ニ対シ民衆ノ意ニ從ヒ強硬ナル態度ニ出ツル様警告の通電ヲ發セリ
北京、上海、漢口、宜昌へ転電セリ

一一七九 九月十一日 在上海矢田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

英艦ト楊森軍トノ交戦模様報告ノ件

第二五六号

(九月十二日接受)

(十一日午後五時軍艦平戸ヨリ接受セル漢口來電第八八号)

本官發外務大臣宛電報

第二四九号

重慶發閣下宛電報第三六号ニ関シ

其後ノ情報ヲ綜合スルニ英國海軍ハ砲艦「ウイジョン」及

スル南軍ノ流弾ヲ浴ヒ引返セリ何等損害無シ、右ニ付テハ司令官ト協議ノ上穩便ニ解決スル筈
北京、広東、長沙、宜昌へ転電セリ

一一八〇 九月十一日 在仏国松島臨時代理大使ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

万県事件ニ対シ英國ガ列国ニ武力の共同措置

ヲ勸告スル旨ノロンドン電報ニツキ仏国諸新

聞論評ノ件

第三〇〇号 (九月十二日接受)

英國政府ハ揚子江ニ於ケル英船拿捕問題等ニ関シ列国ニ対シ武力の共同措置ヲ勸告スヘシトノ倫敦電報ニ対シ十一日 Temps ハ斯クノ如キハ支那全土ヲ驅ツテ莫斯科ノ手中ニ帰セシムルカ如キ結果ヲ来ス惧アルノミナラス列国ノ意見容易ニ一致セサルヘシト説キ Quotidiens ハ日伊兩國ハ英國ノ提議ヲ承諾スルヤモ知レサレト斯克セハ日本ハ英國ニ対シ高価ナル代償ヲ求ムルコトナルヘク又米國ハ断シテ武力干渉ニハ参加セサルヘシ云々ト

在欧米各大使及寿府へ郵報

「コクチェファア」二隻及宜昌ニ於テ特ニ傭船セル汽船嘉禾ヲ武装シテ楊森カ抑留中ノ英國汽船二艘ヲ奪回セントシ九月五日夜先ツ乗客船長船員(支那人ヲ含ム)ヲ收容ノ上更ニ乗船中ノ楊森軍隊ノ武装解除ヲ為サシメル計画ヲ以テ嘉禾ヲシテ接近セシメントシタルニ万県号ノ砲火甚シキ為メ(脱?)万流号^{パシ}ノ外国人船員ハ水中ニ飛入りテ漸ク逃レタル程ニシテ(機関長ハ溺死セリ)勿論奪回ノ目的ヲ達セス且両軍ノ間ニ相当激烈ナル砲撃アリシモノノ如ク万県市街ハ目下火災ニ包マレ居レリ英國側ハ死傷十余名アリ指揮官(当港碇泊中ノ「デスパッチ」副長)ノ死骸ハ万県号ニ遺棄スルノ已ムヲ得サルニ至リシト、尚英國海軍ハ近ク再挙ヲ計リ其ノ目的ヲ達スル筈ナリト云フ、本邦人ノ安危ニ関シテハ何等情報無シ

尚英國砲艦「スカラブ」ハ九月二日商船護送上江中^{キンコウ}上流ニ於テ南軍ノ砲撃ニ応射シタルコトアリ本八日「ビー」ハ当地下流ニ於テ重油補給ノ上引返シノ途上又南軍ヨリ砲撃セラレタルカ船体ニ命中シタルモ機関銃ニテ応射シツツ英租界前ニ引揚ケタリ我カ砲艦堅田モ亦今朝日清汽船四隻ヲ護衛シテ午前六時上江ノ途次大別山砲台ヨリ武昌ヲ砲撃

一一八一 九月十二日(着) 在米國松平大使ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

万県事件ニ対シ英國ガ列國共同行動ヲ提議ス
ル旨ノロンドン通信ニ関シ米國諸新聞論評ノ

件

第一五六号

最近支那時局ノ發展ニ関シ當國新聞紙上ニ上海北京倫敦方面ヨリノ報道掲載セラレ相當ニ一般ノ注意ヲ惹キ居ル処曩ニ揚子江ニ於テ米國砲艦ニ隻カ砲撃ヲ受ケ水兵二名負傷シタリトノ報道アリタルモ一般ニ冷靜ナル態度ヲ持シ尙万県事件ニ関シ英國側ハ対支干涉ニ付米國ノ支持ヲ望メル旨ノ倫敦通信伝ヘラレ本十一日ノ「ヘラルド・トリビュン」紙上ニモ倫敦通信トシテ英政府ハ米仏日三国ト共ニ対支共同行動ヲ執ル為會議ヲ提議スル可能性アリト報道シ居レルモ同日 New York Times 社説ハ無力ナル支那政府ニ抗議スルモ無益ニシテ又米國ハ武力的行動ニ参加セサル可ク從來各國カ砲艦ヲ以テ支那ヲ威圧スルノ政策ヲ執レルハ最早今日ノ狀況ニ適當セス却テ危險ナル反動ヲ生シ動乱ヲ助長スルモノ也ト論シ其他ノ諸新聞社説モ一般ニ干涉ニ反対ノ意ヲ表明シ居リ「ハースト」系諸新聞ノ如キハ支那ヲ窘メル

テモ英國ノ態度最憎ムヘキモ公言シ居リ國民黨系ノ人物等モ亦同様ニシテ排英宣傳日ヲ追フテ盛ナリ(不明)

之ニ対シ英國側ハ昨日東洋艦隊旗艦「ホーキンス」ヲ來港セシメ英國居留地ニハ陸戰隊多數上陸防備最嚴重ヲ極メ何時衝突ヲ見ルヤモ測リ難キ有様ニシテ仮令武力衝突ヲ見サル迄モ叙上支那側ノ態度ニ微スレハ經濟絶交ハ勿論廣東ニ於テ行ハレタル居留地ノ封鎖等ヲモ実行スルニ至ルヘク双方ノ感情ハ余程高調シ居ルモノト見受ケラル

此場合我方ヨリ調停ヲ試ミムトセハ或程度迄渦中ニ捲込まルルノ覺悟ヲ要スルト共ニ場合ニ依リテハ英國ト一致ノ行動ニ出ツルノ破目ニ立至ルナキヤ怖ル御訓示ノ通り我方ハ英國トノ伝統的親善關係ニ鑑ミ本官ハ司令官トモ熟議ノ上努メテ英國側ニ同情ヲ寄せ現ニ重慶万県等ノ英國人ヲ我軍艦ニ收容シ避難セシメ又当地ニ在リテハ支那側ニ外國艦船射撃ノ不法ヲ警告シ之ヲ英米領事ニ伝ヘ我方ノ好意ヲ示ス等直接間接ニ努力シツツアリ英國總領事トシテハ前日ノ領事団會議ニ於テハ素直ニ本官ノ穩健說ヲ容レ(九江ヨリ電報濟)強硬手段ノ不可ナルヲ承知シ居ルモ何分海軍側ノ措置ニ対シテハ干涉シ難キモノト見エ頗ル困難ノ立場ニ在

為ニ英國ヲ助クルカ如キハ米國ノ義務トスル処ニアラスト迄極言シ居ル処只其間ニアリテ九日「シカゴ・トリビューン」ノミハ大局ヨリ見レハ時局ハ大勢ニ鑑ミ出來得レハ日本ヲモ含メテ共同措置ヲ執ルノ得策ナルヲ示シ居リ而シテ米國ノ一般の見解採用セラレ他ノ諸國カ特種目的ノ為ニスル近視眼の策略ヲ拋棄スルニ於テハ米國ハ之ニ参加シ得可シ云々ト論シ居レルカ在華府諸新聞通信員ハ政府當局ニ於テハ意見ノ發表ヲ避ケ居ルモ今回ノ揚子江事件ヲ以テ一般的干涉ノ原因トナスヲ欲セサルカ如キ意向ヲ漏ラシ居ル旨通報シ居レリ

英ニ転電シ仏ニ転電セシム

一一八二 九月十三日(着)

在漢口高尾總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

万県事件ニヨリ排英運動盛ナルモ現在中英
間斡旋ノ可否ニツキ請訓ノ件

第二六一号

貴電第五八号全文只今接到(第五七号未着)当地英支間ノ關係ハ上流各地ノ事態ト共ニ今ヤ最危險ノ状態ニ在リ(九江經由電報濟)現ニ唐生智、劉佐竜等ノ当局ハ何人ニ対シ

ルモノノ如シ米國總領事亦同様ノ感想ヲ抱キ居ルノミナラス九月九日領事団會議後英米仏日ノ四領事居残り居留地防備ヲ議シタル際米國ハ排英運動ニ捲込まレルヲ好マス自國ノ陸戰隊ハ引揚ケタシト申出テタル位ナリ

以上ハ当地ノ狀況ト本官差当リノ觀察ヲ申上ケタル次第ナルカ効力ノ如何ハ兎ニ角又多少ノ危險ヲ冒シテモ御訓令ノ通り英國總領事ヘ一応ノ談話ヲ試ムヘキヤ御詮議ノ上何分必要ノ向ヘハ本省ヨリ転電請フ

一一八三 九月十三日

在漢口高尾總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

万県事件ハ中英間ニ平和的解決進行中ニツキ
日本側ヲ煩ハスコトナキ旨英國總領事談話ノ

件

第二六五号

(九月十四日接受)

往電第二六三号ニ関シ

十三日英國總領事訪問ノ上御訓令ノ趣旨ヲ本官ノ内意トシテ伝ヘタルニ万県事件ハ其ノ後楊森ノ態度軟化シ來リ交渉署員ヲ宜昌ニ派シテ盧金山ノ調停ニ依リ平和的解決ヲ図ル

コトトナリ目下交渉中ナルカ拿捕セラレシ英国船二隻ニ関シテハ直ニ引渡シ方申出テアリタルモ（万県下流四五哩ノ地点ニ繫留中ノ由）正式ノ手続ニ依ラサレハ受取ラサル積リナリ万流号「サンパン」顛覆事件ニ付テハ双方ヨリ委員ヲ撰ヒ真相調査ノコトトナルヘク右様ノ次第二テ御好意ハ感謝ノ外ナキモ自分等トシテハ地方的独立ノ一軍閥對手ノ問題ニ過キサレハ別ニ日本側ヲ煩ハスコトナカルヘシト考フト述ヘタリ

次テ本官ハ北京発閣下宛電報第五八一号前段ノ趣ヲ伝ヘ且ツ其後日本軍艦カ上流ニ於テ執リシ英国人救護ノ模様ニ関シ委細説明シタル上帝国海軍ニ於テハ今後共保護ノ任ヲ尽スヘク司令官トモ打合セ済ミナル旨語リシニ殊ノ外感謝ノ意ヲ表シタリ

英領事ハ広東当局ニ対シテハ言葉ヲ極メテ其非法ヲ責メ排英気分ヲ押ヘルタメニハ十分ノ注意ヲ払ヒ居リ本日ノ国民党大会ニモ劉佐竜ニ対シ嚴重取締方請求シ置ケルカ兎ニ角当方面ニ於テモ遠カラス最近広東ニ於テ英国海軍ノ執リシ如ク或ハ兵力ニ慭フルノ外ナカルヘシト目下当地ニ於テ有スル同国ノ十分ナル海軍力ニ信頼シ居ルノ口吻ヲ洩ラシ

六日楊森ノ談左ノ通り

万県号ニ嘉禾ヨリ決死隊トシテ同船ニ乗リ来レル英国人ノ死体三アリ両船ノ英人船員ハ行衛不明支那側ハ万県号ノ監視兵四一其他一般軍民五六百ニ達ス本件ニ関シ日本官民ノ公正ナル批判ヲ求ム
在支公使ニ転電セリ

編註 第二六九号ノ一見当ラズ

一一八五 九月十四日

在重慶後藤領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛

英艦ノ万県砲撃事件ニ対スル四川省内ノ排英

状況報告ノ件

普通第二三七号

（十月五日接受）

大正十五年九月十四日

在重慶

領事代理 後藤 禄郎（印）

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

英艦万県砲撃案当地朝野ノ輿論沸騰ニ

関スル件

本月五日万県ニ於テ英国艦カ同県城ヲ轟撃シ数百人ノ死傷

其態度甚タ硬化シ来リシモノノ如シ
在支公使ヘ転電セリ

一一八四 九月十三日 在漢口高尾総領事ヨリ
幣原外務大臣宛（電報）

楊森ヨリ我ガ軍艦避難方並ビ市民代表ヨリ楊
ノ軍事行動ヲ中止セシムルニツキ英艦ノ砲撃
中止勧告方申出アリタル件

第二六九号ノ二（編註）
（九月十四日接受）

（第一一号脱？）

楊森ハ五日夜交渉署長ヲ当館ニ派シ慰問セシメ且日本軍艦ノ避難方申出更ニ市民ノ代表来訪楊ノ軍事行動ヲ中止セシムルニ付英国ノ攻撃中止勧告アリタシト申入アリ尚英艦長ハ勢多ニ砲撃前通告スヘキ約アリシニ何等通告無ク本邦人及外国人トモ避難ノ暇無カリキ又交渉中英領事ハ軍艦ニ依リ下江セリト又支那側ノ言ニ依レハ同領事ハ万流号ノ浪沈ハ認メタルモ強制乗船ノ支那兵下船ノ後同船ノ出発ヲ阻止スル為狙撃シタルニ対シ英艦ヨリ機銃発射シ支那兵二名ノ重傷者ヲ出シタル点ヲ否認セリ

第一二号

者ト多数ノ民家ヲ焼棄シタルノ急報ニ接スルヤ当地発行ノ支那各新聞ハ翌六日ノ紙上ニ右急電ヲ掲載シテ逸早く輿論ヲ喚起シ猶一面各法团並ニ県郷各地ニ飛檄通電シテ鋭意排英ノ鼓吹宣伝ト善後対策ヲ講究中ナルカ昨年ノ上海、九江、漢口、香港及ヒ当地南岸竜門浩学生殺害事件ノ余燼未タ冷却セサル折柄今回又復万県砲撃事件ノ發生シタル為メ当地官民ハ英国人ニ対シ拳テ敵愾心ヲ有スルニ至レリ本件ハ其後益々拡大悪化セルノ兆アルヲ以テ何等御参考迄ニ昨今ノ状況ヲ左ニ記述報告申進スルニヨリ御査閲相成度シ

本信写送付先 在支公使、上海、漢口、成都、広東各総

領事

（別紙）

一、各新聞紙ノ論調

当地発行ノ商務日報、四川日報、晚報、团務日報、新蜀報ノ如キハ万県砲撃事件發生後何レモ筆ヲ揃ヘテ英艦ノ不法ヲ難論攻撃シ官民ノ往復電報其他本案後盾ノ寄稿記事ヲ以テ同紙面ノ大半ヲ填充シツツアルノ有様ナルカ就中新蜀報ハ国民党ノ機関紙ニシテ主筆漆南薫ハ同党ノ牛耳ヲ執リ居レルノ關係上自ラ率先シテ外交後援会其他ノ

各法團間ヲ奔走接洽シテ只管民衆鼓舞ヲ画策シ一面同紙上ニ於テハ同報記者劉翌叔ト共ニ英艦カ万県ヲ轟撃シ多數ノ市民ヲ屠殺シタルハ有意ノ挑戦ナルヲ以テ此際群策蹶起シテ英國ト一大決戦セサルヘカラストノ激励の論評ヲ登載シ更ラニ筆鋒鋭ク英國ハ国賊吳佩孚ト暗ニ通謀勾結シテ禍乱ヲ企図醸成スルモノナレハ吳ト共ニ英帝國主義ヲ打倒殲滅シ内河航行權ノ收回ハ勿論所有ル不平等ノ条約ヲ廢除セサルヘカラスト切論シ醜怪読ムニ堪ヘサル文字ヲ臚列シテ殆ント完膚ナク英人ヲ誹譏シ居レル所本案交渉ノ激底弁法トシテ一、英國ノ四川ニ於ケル一切不平等ノ条約ハ完全ニ効力ヲ失ハシムルコト二、四川ノ英國軍艦ハ武装ヲ解除セシメ並ニ巫峽ヲ封鎖シ本案ノ交渉以前暫時何國ノ軍艦モ入川ヲ禁止ス(千九百七年ノ海牙条約ヲ援照シ郵便物ハ沒收スルヲ得サルモ商船上ノ貨物ハ沒收スルヲ得敵艦ノ武装解除ニ止マラス封峽ノ封鎖ニ至ツテハ公法上太平洋封鎖條例ニ照ラシ暫時何國ノ軍艦モ入川ヲ禁止スヘシ若シ中立國ノ船舶ニシテ封鎖区域内ニ出入スルモノハ捕獲沒收シ第三國ノ私カニ英人ヲ援助スルヲ得サラシムヘシトノ理由ヲ付記セリ)三、英國領事

列願ノ尊嚴ヲ以テ中國ヲ保持セント欲ス云々トノ演說ヲナシタルモ其実彼ハ張子(ハリコ)ノ虎ナレハ我カ中國人ヲ威嚇スルニ由ナキナリ吾人ハ已ニ戦争状態中ニ処スルモノナレハ邦交ヲ言フノ要ナク四川外交当局モ亦徒ラニ他國領事ヲ往訪シ之カ調停ヲ求ムルノ要ナキナリト結論シ民衆ノ覺醒奮起ヲ激励シツツアリ

二、教育会方面ノ建議ト学生連ノ講演

イ当重慶ノ中学程度校長並ニ各新聞社長ハ去九日交渉員季叔平ヲ訪問シ(1)交渉未解決前英國軍艦商船ノ入川ヲ禁止シ現ニ川河ニ碇泊中ノモノハ三日以内ニ出川セシムルコト現ニ入川ノ三軍艦ハ法ヲ設ケ拘留スヘク政府ニ請求スルコト(2)政府ヨリ各公団、外國領事、外人団体ト調査團ヲ協同組織シテ万県ニ赴キ調査スルコト(3)万案状況ハ隨時南北政府並ニ全國重要都市及ヒ全世界ニ通電スルコト(4)已ニ拘留ノ商船ハ交渉未解決前英人又ハ其他ノ各國ニ交還スルヲ得ス(5)外人生命財産ハ責任ヲ以テ保護スルコト(6)交渉署内ニ万案委員會或ハ討論會ヲ組織スルコト(7)群衆ノ運動ニ対シテハ政府ハ須ラク之ヲ保護シ且ツ贊助スルコト等ノ建議書ヲ季交渉

ニ五日ヲ限り下旗出境セシメ英商僑民教士及中國政府備聘ノ郵便海關員等ハ十日以内ニ出境セシムルコト四、武漢國民革命軍ニ通電シ長江上游ヲ封鎖シ英國軍艦ノ航行ヲ禁止スルコト五、暫時英商太古怡和兩公司ノ四川ニアル動不動產一切ヲ沒收シ將來本案ノ生命財産ノ賠償ニ充当スルコト以上列挙ノ五項ハ須ラク政府ヲシテ実行セシメサルヘカラスト論述シ其末段ニ於テ英國何ゾ畏ルルニ足ラン余ハ曾テ英國ニ遊歴シ各種階級ト面接シタルノミナラス歴史政治經濟等ノ書籍モ通読シタルモノ少ナカラサルカ同國ノ政情ハ三党ノ競争ニシテ労働者ト資本家ハ互ニ相反目シ殊ニ罷工ノ風潮ハ不治ノ難症ニ陥リ人民自大ニシテ独逸人ノ如キ勤勞ナク生産ハ減少シ人口三千六百万中五百万ノ失業者アリ内過半ハ歐洲戦争ノ際負傷シタル廢殘者ナルモ政府ハ之ヲ撫卹セス貧富何レモ戰意ナキノミナラス軍艦ヲ派遣シ我ト開戦スルノ余力ナシ且ツ昨年五・三十惨案發生後我ノ英貨抵制ニヨリ人民ハ政府ニ対シ非常ニ不滿ヲ抱キ居レリ外交總長「オースチン、チエンバレーン」ハ本年三月議會ニ於テ中國ノ抵貨風潮ハ一時的ノ現象ニ過キサレハ憂慮スルノ要ナク我ハ大不

員ニ交付シ即時之カ実行方ヲ請願スルトコロアリタリロ男女學生團及ヒ外交後援會派遣員ハ昨今ノ暑熱ニモ屈セス屋夜城内外枢要ノ地ニ於テ声ヲ囂シテ英國人ノ非法ヲ指摘罵倒シ且ツ曰ク吾人ノ同胞ハ万県ニ於テ屠殺セラレ且ツ民家数千ハ焚燬セラレタリ吾人ハ英因ノ皮ニ寝シ其生肉ヲ喫セサルヘカラスト詭激ナル弁說ヲ振ヒ民衆ノ賊軍閥ノ首魁吳佩孚モ同時ニ打倒セサルヘカラスト絶叫シツツ盛ニ伝單ヲ散布シ居レリ

三、朝野官民ノ強硬表示

本案發生後川軍第三十二師長兼商埠督弁潘文華及軍界名士中此際英國ニ対シ宣戰ヲ布告スヘシ吾人ハ之カ先鋒トナリ國難ニ當ルヲ辭セスト声言セル徒輩少ナカラス然カモ是只民意ニ迎合シ自己ノ地位ヲ保持セントスルノ細策野望ニ過キササルコト明白ナルカ目下当地ニ於ケル學、工、商、農等各団体ハ城内平民学校内ニ万県慘案四川國民雪恥會ナルモノヲ設ケ各派代表者ヲ同會ニ召集シテ各部執行委員七十五人ヲ推挙シ募捐、賑恤、宣伝、游行、講演、罷工、工人救済、英貨査驗及抵制其他分担事項等ヲ討議散會シタルカ其後各団体ハ結束ヲ鞏固ニシ目的ヲ

達成セサレハ止マサルノ氣勢ヲ示セリ以上記述セルカ如キ形勢ニシテ同雪恥会ノ背後ニハ国民革命軍系ノ群力躍動セルアリテ単ニ万県慘案トシテ輕々看過スヘキ問題ニアラス其結果如何ニヨリ累ヲ我日本ニ及スヘキ由々敷問題ナラント考察セラル

一一八六 九月十五日 在広東清水総領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

万県事件ニ関スル広東政府機関紙ノ論評報告ノ件

第一一一号

(九月十七日接受)

万県事件ニ関シ今日迄ノ処政府機関紙カ右ハ阿片戦争以来英国ノ慣用手段タル砲撃政策ノ一表現ニシテ敢テ珍奇トスルニ足ラスト揶揄の論評ヲ試ミタル外別段ノ反響ナシ北京、漢口へ転電シ上海、香港、南京、九江、汕頭へ暗送セリ

一一八七 九月十七日 幣原外務大臣ヨリ
在英国松井、在米國松平各大使宛(電報)

万県ニ於ケル中英衝突ニ関スル我が斡旋方申出ヲ在漢口英國総領事謝絶シタル旨通報ノ件

ノ措置ヲ徳トシテ帰還セル由

一一八八 九月十七日 幣原外務大臣ヨリ
在英国松井大使宛(電報)

長江上流方面ニ於ケル北伐軍ノ外国艦船射撃事件ニ関シ報告ノ件

第八六号

広東北伐軍ノ長江進出以来上流方面ニ於テ外国艦船殊ニ英艦ノ同軍ヨリ射撃セラルルモノ頻出シ帝國側ニ於テモ隅田、堅田ノ被射事件アリ漢口陥落後同方面ノ航行一層危険ヲ加ヘタルヲ以テ之カ対策ニ付九日漢口領事団會議開催セラレ英國側ハ支那側ヲシテ飽迄右不法行為ノ結果ニ付責任ヲ負ハシメムト主張セルモ米國側ハ排英ノ渦中ニ捲キ込マルルヲ好マス抗議ヲ留保シ単ニ安全保障ヲ求ムルニ止メムトシ我方モ目下ハ単ニ艦船ノ安全航行ニ対スル一般の保障ヲ求メ此際各國各自ノ問題ハ其國限リニテ解決シ問題ニ深入スルヲ避クルノ態度ニ出テタル結果同地保安總司令ニ対シ今回ノ戦乱ニ対シ厳正中立ヲ守レル外国艦船ニ対スル南軍ノ不法射撃ニ付注意ヲ喚起シ南軍指揮官ヲ動カシ今後此種行動差止方尽力ヲ希望スル旨首席領事ノ名ヲ以テ覚書ヲ

合第一八四号

往電合第一七四号ニ関シ

九月五日万県ニ於ケル英艦及楊森軍衝突ノ結果同方面ニ於ケル英支間感情益々悪化ノ兆アリタル処十三日高尾総領事同地英國総領事ヲ訪問シ前電帝國政府訓令ノ趣旨ヲ同官ノ内意トシテ伝ヘタルニ同總領事ハ万県事件ハ其後楊森ノ態度軟化シ交渉署員ヲ宜昌ニ派シ英國側ト交渉中ニシテ雲陽ニ於ケル舢板沈没事件ニ付テハ双方ヨリ委員ヲ選ヒ真相調査ノ上平和的解決ノ見込ナルヲ以テ帝國側ノ好意ハ感謝スルモ本件ハ単ニ地方的独立ノ一軍閥對手ノ問題ナレハ別ニ日本側ヲ煩ハス程ノコト無カル可シトテ謝絶セル趣ナリ尚本件ニ関連シテ長江上流方面ニ排英運動起リツツアルカ九月八日重慶在泊ノ帝國軍艦鳥羽ハ同地英國在留民一同ヲ艦内ニ收容避難セシメ九日万県ニ於テモ軍艦勢多ハ英人二名米人六名等ヲ收容シ英國側ニ好意ヲ表シ来レル処十一日在北京英國公使ハ書記官ヲ代理トシテ堀代理公使ヲ来訪右重慶ニ於ケル帝國軍艦ノ好意ヲ謝セシムルト共ニ今後モ同様ノ場合帝國海軍ノ援助ヲ請フ旨懇請セシメタルヲ以テ堀ヨリ前記高尾宛訓令ノ趣旨ヲ説明シ同書記官ハ大イニ我方

発スルコトトナリタルカ同總司令ハ南軍ノ軍事行動ニハ責任無シト称シ右覚書ノ趣旨ハ指揮官ニ移牒スルモ其ノ結果ニ付テハ明言シ難シト答ヘ要領ヲ得ルニ至ラス

尚本件ニ付テハ我方ニ於テモ高尾總領事永野遣外艦隊司令官ト協議ノ上北伐軍前敵總司令唐生智ニ対シ単独ニテ一応警告ヲ為シ置キタルカ前記我方被射事件ハ其都度出先領事海軍側ト協議ノ上交渉シ両件トモ先方ノ謝罪ニヨリ解決済ナリ

在欧米各大使へ転電アリタシ

一一八九 九月十八日(着) 在漢口高尾總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

万県事件ニ関連シ我が軍艦ノ英艦援助ハ誤報ナル旨並ビニ同事件ニ対スル中英間交渉条件

ニツキ報告ノ件

第二七五号

其ノ後ノ万県事件ニ関シ九月十四日宜昌来電ヲ綜合スルニ(海軍無線ニ依リシヲ為メ暗号甚タ敷ク崩レ其ノ儘転電不可能)六日日本軍艦英艦ヲ援ケシトノ誤報伝ハリ排日運動起ル惧アリ県知事ハ楊森ニ対シ其ノ無根ナル事ヲ重慶新聞社

ニモ電報發表スヘキ旨要求シ楊ハ之ヲ承諾セリ
交渉ニ際シ英國側ノ条件ハ拿捕船ノ釈放今後ノ自由航行ノ
保障及船舶抑留中ノ損害賠償ノ要求等ニシテ之ニ対シ楊森
側ハ

(一) 釈放ハ吳佩孚ヨリノ命ヲ待ツコト及浪沈セラレタル民船
ノ賠償要求且ツ右ニハ第三者ノ保証ヲ立テ金額ハ抑留中
ノ英國船ヲ経テ交付スルコト

(二) 今後英國船ハ各外国商船ト同一ノ待遇ヲ与フルコト
(三) 戦端ヲ開キタルハ英艦ナルヲ以テ万県住民ノ損害賠償ノ
責ヲ負フコト

其ノ他責任者ノ処罰及謝罪等ナリト

宜昌領事ハ我艦長カ万県商会長ノ依頼電報ヲ盧金山ニ交付
スル際同伴シタルカ楊森ノ提出条件ハ英國側ニ容レラセ
ルヘキニ付無条件又ハ其ノ提言方ヲ考慮シテハ如何トノ旨
ノ返電取次方依頼アリ
北京へ転電セリ

一一九〇 九月二十日
在重慶後藤領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛

尚当日ハ在留外国人ハ万一ヲ慮リ悉ク江ノ南岸ニ避難シ殊
ニ英國人ノ如キハ更ニ下流塘家坨方面ニ赴キテ殺氣立テル
支那群衆ノ誤会ヲ免ヌカレタリ
右何等御参考迄ニ報告申進ス
本信写送付先

在支公使 上海 漢口 成都各總領事 宜昌領事

(別紙)

当日群衆ノ連呼セル口語

一、万県惨案ノ為メ復仇ヲ誓フ

二、全国民衆一致抗英ス

三、万県惨案罷工工友援助ス

四、万県惨案被難同胞救済ス

五、民衆蹶起シテ万県惨案交渉ヲ監督ス

六、対英経済絶交ヲ実行ス

七、英支一切ノ不平等条約ヲ廢除ス

八、漢奸洋奴ヲ誅殺ス

九、英國陸海軍ノ撤退

十、内河ノ航行權回收

十一、罷工工人救済費ヲ政府ニ於テ負担スヘキコトヲ要求

万県事件ニ対スル重慶各界団体ニヨル示威運
動狀況ニツキ報告ノ件

普通第二四二号

(十月十三日接受)

大正十五年九月二十日

在重慶

領事代理 後藤 禄郎(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

万県砲撃事件ニ対シ水陸兩道示威大游行

二関スル件

本件ニ関シ不取敢拙電第四五号ヲ以テ報告シ置キタル通り
当地方各界団体四百余団約六万ノ群集ハ昨十八日午前九時
城内打槍^(發)ニ集合シ司會者漆南薰(日本京都大学出身)等
十余名交々立ツテ英帝國主義ノ蛮横ヲ絶叫シ一切ノ対英經
済絶交ヲ公約シタル後隊伍ヲ整ヘ水陸兩道ニ分レ「從今日
起実行抵制英貨」、「從今日起実行対英大罷工」、「從今日起
実行対英不合作」等大書セル大旗ヲ押シ樹テ左記口語ヲ連
呼シツツ一大游行ヲ舉行シタルカ多数ノ軍警異常ノ警戒ヲ
加ヘ周到ナル取締ヲ為シタルヲ以テ比較的秩序整然トシテ
越軌ノ行動ニ出テタルモノナク右游行ハ終了シ午後五時頃
各隊トモ解散セリ

ス

十二、武力ト民衆ト連絡蹶起ス

十三、英貨排斥ヲ実行ス

十四、英人ニ一切物品ヲ供給セス

十五、國民政府及國民革命軍ヲ擁護ス

以上

一一九一 九月二十二日(着) 在英國松井大使ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

万県事件ニ関スル英國側ノ対応振リニツキ情

報報告ノ件

第一七号

支那時局ニ関シ官辺ノ消息ト思ハルル新聞記事ヲ綜合スル
ニ左ノ通り

(一) 万県ニ於ケル拿捕英船二隻ハ英支交渉ノ結果英國側ニ引
渡サルル事ニ決定シタルカ強力ナル英艦隊ノ配置カ該交
渉ヲ進捗セシメタルヤニ見ラレ居レリ今後ノ交渉ハ沈没
貨幣ノ賠償要求並ニ將來英船不徵免ノ保証及拿捕英船所
有者ヨリノ賠償要求等ニ亘ルヘシ

(二) 香港政府ハ往電第一六九号広東側ノ通告ヲ公表シタルカ

「ボイコッター」ニ対スル保証トシテ普通品二分五厘奢侈品五分ノ輸入税賦課ヲ含ミ居ル処右ハ広東政府ノ「ステイタス」問題ヲ惹起スルノミナラス同政府ハ通告ノ形式ヲ執リ提議ノ形ヲ避ケタルニ鑑ミ否応ナシニ税関ヲ押ヘルカ又ハ特別ノ税関ヲ設クルモノト推測シ得ヘク更ニ本税ノ賦課ヲ広東軍ノ現在及将来ノ占領地域ニ拡張セントスルヤモ知レス

右ハ華府条約ニ衝突シ又列国カ抗議的態度ニ出スヘキニ照シ英國ヲシテ難境ニ立タシメ問題ノ解決遷延スルヲ免レサルヘシ

一一九二 九月二十二日 在宜昌浦川領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

万県事件ニ関シ中国側ハ英船二隻ノ米商ヘノ
引渡ヲ是認セシ旨盧金山談話ノ件

第三八号

(九月二十五日接受)

万県事件ニ関シ盧金山ノ談ニ依レハ十九日当地ニ於ケル盧金山季重慶交渉員ノ英國側ト会見ノ結果支那側ハ万県万通ノ二隻ヲ当地某米商ノ手ニ引渡スコト丈承認シ其ノ余ハ英支当局ニ米國艦長一名ヲ加ヘ事件ノ顛末調査ヲ遂ケタル上

合ニハ却テ長江一帯ニ於ケル排英熱ノ勃発ヲ見ルナキヲ保セスト思考セラル

北京ヘ転電シ漢口、九江、蕪湖、南京、杭州、蘇州ヘ暗送セリ

一一九四 九月三十日(着) 在英國松井大使ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

英首相ノ下院ニ於ケル万県事件等ニ関スル答
弁振り報告ノ件

第一七二号

二十八日下院ニ於ケル首相ノ支那問題答弁中注目スヘキ点左ノ通り

(一)万県事件ニ関シテハ拿捕英船二隻中一隻ハ既ニ返還セラレ一隻ハ目下宜昌ヘノ途ニ在リ楊森ハ友好的態度ヲ執リツツアル由ニシテ右第二隻到着ノ上ハ長沙問題考慮セラヘルヘク在宜昌英國領事ハ本件ニ関連スル諸案件解決促進ノ為メ重慶ニ直航ノ答

(二)在支兵力ニ関シテハ目下支那ヘ進航中ノ飛行母艦 Hermes 及ヒ九隻ノ驅逐艦隊ノ増派ニ依リ在来ノ海軍力ト相俟ツテ在支英國國民及ヒ利益ノ保護ニ十分ナリ陸軍ニ付テ

更ニ交渉再開ノコトトナリ季交渉員ハ万県ニ引返シタル趣ナリ
在支公使、漢口、重慶ニ転電セリ

一一九三 九月三十日 在上海矢田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

万県事件ニ関スル國民黨系団体ノ反英示威運
動計画ニツキ報告ノ件

第二九五号

万県事件發生以来例ノ如キ通電宣言等ニ依リ反英氣勢ヲ揚ケ居リタル当地学生会總工会等國民黨系ノ団体ハ数日前ヨリ万県ノ代表者ナルモノヲ昇キ廻リ英國ノ横暴ヲ鳴ラシテ經濟絶交ノ必要ヲ高調シ十月五日ヨリ十二日迄ヲ反英運動週ト定メ五日ニハ全国的ニ罷工、罷課、罷市ヲ為シ示威運動ヲ舉行スヘシト勧誘宣伝ニ努メツツアル処同事件ニ対スル当方面支那人ノ氣乗薄キニ顧ミ右計画カ如何ナル程度迄實現ヲ見ルヘキヤ疑問ナルモ江西及武漢方面ニ於ケル北伐軍ノ旗色面白カラサルニ伴ヒ右排英運動ノ勢ヲ加ヘツツアルヤニ認メラルルハ英國ノ孫伝芳援助説流布セラルル此際特ニ注意スヘキ現象ニシテ将来北伐軍失敗シ去ルカ如キ場

ハ今日迄ノ事態ハ兵力干涉ヲ必要トセサリシヲ以テ陸軍及ヒ空軍ノ増派ヲ為シタル事ナシ

(三)英國政府ハ在外國國民及ヒ利益保護ノ為メ執ルヘキ手段ハ各場合ノ事情ニ応シ關係國政府自ラ決定スヘキ事項ナリト認ムルヲ以テ支那ノ時局ニ関シ又ハ在支外國人保護ノ為メ執ルヘキ共同措置ニ関シ關係諸國ト協議スル手段ヲ講シ居ラス

(四)広東「ボイコッター」ニ関シテハ英國商人ニ対スル攻撃益々猛烈トナリタル為メ政府ハ在支艦隊司令官ニ一切ノ「ボイコッター」偵察船ノ押収及ヒ糾察隊ノ英國波止場ヨリノ驅逐ヲ命シ該行動ハ九月四日行ハレタルカ右開始ト共ニ一切ノ偵察船逃亡シ為メニ押収ノ必要ナク英艦ハ一発モ発砲セサリキ右措置ハ直ニ広東政府ニ手応アリ同政府ハ英國總領事トノ間ニ支那警官ノ河川巡邏波止場保護ヲ取極メタルヲ以テ海軍ノ行動ヲ終止セリ右取極ハ広東側ニテ嚴格ニ守リ爾来何等事件ヲ生セス広東側ノ「ボイコッター」終止ノ通告二十四日公表ト同時ニ糾察隊退去シ英船故障ナク広東ニ入り旅客及ヒ船貨ヲ得タリ課税問題ニ付テハ考究中ナリ

一一九五 九月三十日(着) 在成都轉松領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

成都ニ於ケル万県事件関連ノ排英運動狀況報
告ノ件

第二〇号

英艦万県砲撃事件ニ関シ当地官民一般ニ英艦ノ行動ノ余リ
ニ横暴ニ過キタルヲ憤慨シ鄧錫侯田頌堯劉文輝省議會議會商務
會等各通電ヲ發シ其ノ氣勢ヲ示シ学生国民党員等ハ吳佩孚
ノ楊森ニ對スル円満解決ノ電令ト盧金山ノ楊森ニ對スル調
停電ナルモノヲ捕ヘテ吳等カ英國ノ為メ買収セラレタリ等
吳攻撃ノ材料トシ一面又示威の運動計画ナルモノノ如ク
ナル処市内比較の平穩外國人ニ對シ未タ何等直接行動ニ出
ツル者ナシ鄧及田等ノ通電ナルモノハ英國側責任者ノ嚴罰
賠償ノ要求ヲ表示スル外余事ニ言及セサル処劉文輝ニ至リ
テハ部下師旅長連名ニテ英國ニ對スル嚴重交渉及帝國主義
打破不平等條約撤廢等国民党員学生一派ノ主張ヲ裏書スル
カ如キ通電ヲ發シ居リ近來同人ノ態度益々広東側支持ヲ表
明シ來レリ尚ホ当初当地一、二新聞カ我軍艦ノ英艦幫助等
誤報ヲ伝フルモノアリシモ其ノ後事情判明スルニ從ヒ今日

楊森ノ援兵軍出動ヲ開始シタル処輸送機關ナキニ依リ各國
汽船ニ武装軍隊ノ脅迫の乗船甚シク為ニ各國汽船ハ悉ク宜
昌ニ集中シ敢テ溯江スルモノナキヲ以テ当地宜昌間ノ交通
ハ全ク杜絶ノ狀態ヲ呈セリ依テ本官ハ劉督弁並楊森ニ對シ
帝國船舶ハ支那内乱ニ對シ中立ヲ嚴守セル關係上何方面軍
隊モ武装兵ハ日本船舶ニ乗船セシメサルニ付此旨各所属部
隊ニ電訓シ其取締方ヲ要求シ同時ニ明四日下江セシムル宜
陽丸ニ對シ沿岸各地軍隊ニ於テ何等誤解ヲ生セシメサル様
予メ通告シ置ケリ

北京、漢口、宜昌ヘ転電セリ

一一九八 十月五日 在漢口高尾總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

万県事件ニ関連スル武漢各界ノ排英運動狀況
報告ノ件

第三一一号

(十月六日接受)

最近当地ニ於ケル對英感情ハ極度ニ惡化シ支那新聞ハ連日
峻烈ナル排英記事ヲ掲ケテ相当根強ク排英気分漲リ來リタ
ル処本日武漢各界主催ノ下ニ万県事件遭難者追悼大会ヲ
当地三碼頭?広場ニ開催シ各種団体及工會員等ノ参加者約

ニテハ之ヲ云フモノナク目下ノ氣勢ハ排英ノ一点ニ集マリ
居レリ北京ヘ転電シ漢口、重慶、九江ヘ暗送セリ

一一九六 九月三十日 在宜昌蒲川領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

重慶ニテ万県事件交渉ノタメ宜昌英領事遡江
ノ件

第四四号

(十月一日接受)

英艦 Wilgeon, Mantis Kawo, ノ三隻当地発上江セリ当
地英國領事モ便乗シタルカ魏交渉員ノ言ニ依レハ重慶ニテ
万県事件ノ交渉ヲナス事トセルタメナル趣ナリ重慶英國領
事ハ当地ニテ病氣保養中ナリ万県重慶ヘ別電セリ
在支公使、漢口ヘ転電セリ

一一九七 十月三日 在重慶後藤領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

我が船舶ハ中国内乱ニ對シ中立ヲ嚴守セルニ
ツキ武装兵ヲ乗船セシメザル様取締方楊森等
ヘ要求ノ件

第四八号

(十月六日接受)

往電第四六号ニ関シ

一万余ニ達シ主催者ノ開會宣言及万県事件ノ報告ニ次テ英
帝國主義及武力政策打破對英經濟絶交英貨抵制英人經營事
業ニ對スル罷業等ヲ高調シ此種各界ノ宣伝「ピラ」約二十
種ヲ撒布シ一同排英標語ヲ大呼シ相当氣勢ヲ揚ケタルモ追
悼大会ノ旗幟ヲ先頭ニ支那街ヲ游行シ英國租界ニ入ラムト
シテ義勇隊及巡捕ニ阻止セラレ小競合ヲ演シタルモ大事ニ
至ラスシテ群集ハ支那街ニ引返シ散會シタリ委細公信
北京、広東、福州ヘ転電シ天津、奉天、青島、濟南、長江
各領事ヘ暗送セリ

一一九八 十月五日(着) 在成都轉松總領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

万県事件ニ関連シテ北伐、排英ヲ高調セル国
民黨員ノ示威行動報告ノ件

第二一号

万県事件ニ對シ一部国民党員等ノ組織スル「万流慘案全川
国民外交後援會」ハ十月一日旧皇城內ニ集合会スルモノ同
黨員学生、労働者团防約二千排英北伐等ヲ高調シ十時市内
游行開始三時過キ小城公園ニ入り無事散會セリ官憲ハ外国
人住所ニ軍警ヲ派シ万一二備ヘシメタリ

尚他ノ国民党員等ヲ中心トスル万県惨案成都国民雪恥会ナル一派ハ十月五日ヲ期シ排英的示威運動舉行ノ筈在支公使、漢口へ転電セリ

1100 十月五日 在成都轉松総領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

国民党員学生等ガ万県事件ニ関シ示威運動実

行ノ件

第三号

(十月十一日接受)

往電第二一号ニ関シ

一日舉行ノ後援会示威運動ハ万県事件ヲ利用シ四川軍北伐宣傳ヲ為スモノナリトテ一般ノ指揮ヲ受ケ醜狀ヲ暴露セリ尚国民党員一派学生等ハ予定ノ通り別々雪恥会ナル名ノモトニ本五日小城公園ニ集リ万県事件示威運動ヲ為セリ来会者一部国民党員学生商人労働者及团防等約八千十二時市中游行開始三時再ヒ同公園ニ歸リ散会セリ官憲ハ前回ト同シク外国人住所ニ軍警ヲ派シ警戒セシメタリ
在支公使、漢口へ転電セリ

ヲ許サスト為シ直ニ開会ヲ禁止シ且各団体代表十八名ヲ拘引セリ

開会ノ状況

今回出席ノ団体代表ハ全国学生連合会總會張超 上海学生連合会金沢鴻 各団体連合会俞秀女 中国済難会蔣竹文 各国婦女連合会吳強保 四川同郷会陳達臣 四川青年社許世雄 青年団体連合会皮以莊 四川旅滬各団体連合会劉秀邦 程源希 国民党区分部何竹軒 上海特別市党部朱廉黎鉄瀨 江青年社^(不明)子蕃 陳冰 国民党区分部蔣宗文 鄭鼎勲 四川旅滬協會王泉源等十九団体代表ヲ算ス
先ツ学生連合会代表張超座長トシテ開会ノ辞ヲ陳ヘ次ノ議案ヲ提出ス

一、全国工、商、学各界ニ通告シ一律ニ英国貨物ノ排斥ヲ実行スル事

二、各団体ノ意見ヲ徴スル事

三、万県惨案ノ後援会ヲ組織スル事

會議ハ右ニ依リ進行シ恰カモ第三案ヲ討議中突如警官隊ノ踏込ヲ受ケタリ

警察庁偵探隊二十余名ハ隊長韋鐘秀ノ指揮下ニ会場正門及

1101 十月七日 在上海矢田総領事ヨリ
幣原外務大臣宛

上海ニ於ケル各団体連合會議ノ万県事件討論

ニ関シ報告ノ件

諜報機密第八三五号 (十月二十七日接受)

大正十五年十月七日

在上海

總領事 矢田 七太郎(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

当地ニ於ケル各団体連合會議ノ万県案討

論ニ関スル件

当地ニ於ケル中国当局ニ於テハ目下戰時中ノ故ヲ以テ集会又ハ多衆運動等一切ヲ禁止シ治安維持ノ為メ其取締頗ル嚴重ナルモノアリ然ルニ全国学生連合会總會ハ本月三日午後二時四十分西門蓬萊路宴慶里三号学生總會事務所ニ於テ各団体代表ヲ召集シ万県ニ於ケル英艦砲撃事件ニ対スル所謂愛國運動トシテ万県事件ニ関スル討論会ヲ開催セルカ警察庁ニ於テハ既ニ該会發布ノ通告ヲ探知シタルヲ以テ予メ之ニ備ヘタル偵探隊長韋鐘秀ノ引率セル警官隊ハ現場ニ出張シ現在軍事戒嚴期內ニ在ルヲ以テ如何ナル団体ト雖モ集会

裏門ヲ警戒シ各団体代表ノ身体検査ヲ行ヒ遂ニ該会ノ各種書籍及ヒビラ會議録等悉ク押収シ現場ヨリ十八名ノ拘引ヲ為シタリ

警察庁ノ態度

松滬警察庁ニ於テハ拘引セル代表者ニ対シ一度取調ヲ行ヒ婦女連合会代表吳強保ニ対シ釈放ヲ為シタルカ該庁長嚴春陽氏ハ次ノ通告ヲ發表セリ

「調査シタル所ニ依レハ拘捕シ来リタル張超余沢鴻等十六名(十八名中二名ハ勞資通信記者ナリ)ハ均シク歴次群衆運動中ノ重要分子ニシテ這回戒嚴期間內ニ就テ集会シタルハ畢竟赤化ノ宣傳ニ關係ヲ有スルヤ或ハ他ノ意味ヲ有スルヤニ就キ查明シタル上再ヒ弁理スヘシ」ト

本件ニ関シ某警察当局ノ談トシテ支那新聞紙ニ伝フル処ニ依レハ

「開會講演ヲ禁止スルコトニ付テハ既ニ命令ヲ公布シタル該代表等ハ其禁令ニ違反シタルモノニシテ実ニ法律ノ容ササル所ナルモ畢竟青年等愛國ノ為メニシテ固ヨリ許スヘキ所アリ將ニ審問ヲ終リタル後ニ解決ヲ与フヘシ」云々又本件ニ関シテハ警察庁ハ上級ノ命令ヲ奉シ弁理ス

ルモノナレハ從ツテ孫伝芳ノ命令ヲ俟チ処理スル事トナ
リ現在ハ暫ラク釈放シ難シト云フ

情報ニ依レハ警察庁ハ拘引代表中六名ノ重要分子ハ某種ノ
嫌疑アルヲ以テ近ク軍法処ニ移シテ審問ニ付セラルヘシト
云フ

全国学生会總會ノ各地学生連合会ニ対スル通告

全国学生会總會ハ各地学生連合会ニ通告シテ曰ク「目下全
ク当局ノ監視状態ニ陥リ一切ノ行動ハ自由ナル能ハス誠ニ
痛心ニ不堪然レ共總會同人ハ決シテ之ニ因リ其愛國ノ天職
ヲ終止セス而シテ警察庁ニ拘捕セラレタル諸代表ノ釈放及
監視ノ解除ヲ請求シ又平時奮闘ノ精神ニ基キ提案各項ノ事
業ヲ繼續進行ス且ツ誓ツテ黑暗勢力ト徹底のニ奮闘スヘシ
之ヲ以テ各地学生連合会ニ対シ鎮靜、援助及繼續努力アラ
ム事ヲ熱望ス」ト

各団体ノ援助

本埠各団体ハ近日紛々トシテ開会シ拘引セラレタル代表ヲ
援助スル方法ヲ討論シ又警庁ニ代表ヲ派遣シテ或ハ公文書
等提出シ拘引サレタル代表ノ釈放ヲ要求シツツアリ其団体
ノ主ナルモノハ

上海各団体連合会執行委員ハ仏租界警察当局ニ協力ヲ要請
シタルニ同捕房ニ於テハ既ニ中国官憲ヨリ協力方交渉アリ
タルヲ以テ直チニ之レヲ容レ現場ニ出張シテ学生十六名女
生四名ヲ仏國憲家灣捕房ニ拘引セリ支那側ニ於テハ該偵探
ノ報告ニ依リ正式公文書ヲ送付シテ引渡ヲ交渉シタルカ被
捕学生ハ「ソビーエ」総巡ニ依リ今回ノ開會理由ヲ訊問セ
ル結果擾亂行為無キヲ認め直チニ釈放シタルモ其内ニ二名
ノミハ保証人ヲ立テシメテ釈放スヘシト云フ
右者事件尚終結ヲ見サルモ一応報告ス

本信写送付先 在支公使

一一〇二 十月十五日 在重慶後藤領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

排日風潮激成ノ惧アルニツキ日清汽船雲陽丸
ノ中国民船ヲ沈没サセタル事件ニ関シ楊總司
令ト折衝セル件

第五一号

(十月十七日接受)

十二日当地発日清汽船雲陽丸ハ十三日巫山峽ニ於テ楊森ノ
援岳軍ヲ搭載セル民船ト衝突シ該民船ハ沈没シ人蓄ヲ死傷
セシメタル趣無線電信ニ接セリ然ルニ過般英國軍艦ノ万県

一〇 雜件 一一〇一 一一〇三

国民外交会 各馬路商界總會 東華学生会 喚群書報社
四川同鄉会 山東青年社 中国済難会 各団体連合会 四
馬路商会總商会 納稅華人会 海寧路商会 江蘇省党部
上海特別市党部 漢壁札路商会 五馬路總會 總工會 四
川青年社 中華全國警鐘会 全国学生連合總會 上海学生
連合会 晋社 南開学会 全国国民同志会 安徽旅滬公民
会 華東黃梅学会 蘇皖贛友誼会 贛民自決会 江西旅滬
各界連合会贛幫商会 贛商連誼会 江西協會 長江文化協
会 中華國民自決会 新皖社 蘇皖鄂湘贛五省公民会 各
省区公民大会 安徽駐滬勞工会 上海女子刺繡公会 全浙
公民会 上海各校被迫離我学生団 青浦旅滬学友会 富順
青年社 青年救国団 地方維持会 萊溪同志会 青年服務
団 国民天職会 陝西旅滬各団体連合会 上大広東同学会
滬商正義社 各大学同志会 浙江公会 万案後援会等数
十団体ナリ尚個人的方面トシテハ王正廷 虞洽卿 郭任遠
朱經農 李石岑等ニ対シ援助方ヲ要請シツツアリ

上海各団体連合会執行委員逮捕事件

前述ノ拘引事件アリシニ不拘万県案事件ニ関スル討論ハ各
種団体ニ於テ引続キ論議セラレツツアリ本月六日午後二時

砲撃事件ヨリ各地民衆ノ激昂未タ去ラサルノミナラス之カ
為排外氣勢益々高潮セムトスル折柄ナレハ英國同様排日風
潮ヲ激成スル惧アリト認メラルルニ付軍艦監田艦長トモ協
議ノ上本官ノ意ヲ含メ不取敢土屋書記生ヲ十五日朝当地発
汽船宜陽丸ニテ万県ニ出張セシメ楊森ト折衝シ部下軍隊ノ
憤激及帝國商船ノ抑留並ニ民衆ノ誤解等ヲ免レシムル事ニ
取計ヒタリ

右ハ事急速ヲ要シ予メ経伺ノ邊ナカリシニ依リ事情御諒察
ノ上同書記生万県出張ノ件御追認アリタシ
在支公使、漢口、宜昌ヘ転電セリ

一一〇三 十月十六日 在宜昌浦川領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

日清汽船雲陽丸ノ中国民船沈没事件ニ関シ同
船側ト楊森トノ折衝振り報告ノ件

第五五号

(十月二十一日接受)

万県ヨリ十三日午後四時入港ノ雲陽丸風箱峽通過ノ際船首
ヲ横切ラントセル民船ニ触レ沈没セシメタルカ支那兵及馬
匹ノ溺死アル見込ミナルモ停船不可能ノ為其儘下航セル旨
同船長ヨリ報告アリ恰モ軍艦保津十四日解纜上航ノ予定ナ

一四五七

ルヲ幸ヒ同艦長トモ打合ハセ責ハ民船ニアル可キモ兎モ角事件ヲ速ニ楊森ニ告ケ斯ノ如キ不祥事ニ対スル日清汽船ノ誠意ヲ示シ同地方ノ軍隊ヲシテ社船ニ対シ不当ノ行為ナカラシムル様依頼方不取敢万県日清出張員ニ電報スル事トシ一面保津艦長ハ途中軍隊駐屯地ニテ同様各首腦者ノ了解ヲ取付クル事トシ保津ハ十四日朝上航セリ然ルニ右ノ支那兵ハ目下当地滞在中ノ援岳川軍第一軍長何金鰲ノ部下ナル由ニテ同軍長ノ司令官日清ニ来タリ買弁副官四名其他溺死並ニ現金数千弗亡失ノ報告アリタル旨ヲ告ケ翌日改メテ代表者日清主任ヲ来訪シ同様告クル処アリタルニ対シ主任ハ懇切ニ対応シ十五日軍長ヲ訪問セルニ三軍長代リテ応接シ双方詳細取調ノ上円満解決ヲ希望スル趣旨一致シ引取リタル趣ナリ他方日清入電ニ依レハ楊森ノ許ニハ兵二馬丁二馬頭溺死ノ旨報告アリタル趣ニテ船長ノ目撃セル処ニ同シ右衝突ノ際雲陽丸乗客中ノ青年等停船救助ヲ迫マリテ騒キタル由ニテ上陸後ノ惡宣伝氣遣ハレタルモ目下当地支那新聞全部時局ノ影響ニテ休刊中ニテ未タ伝單等モ現ハレス今ノ分ニテハ日清ニ於テ直接穩便ニ示談出来得ヘキ見込ミ在支公使、漢口、重慶ヘ転電セリ

一一〇五 十一月二日

在中国芳沢公使ヨリ
幣原外務大臣宛

万県事件実地調査ノタメ政府委員派遣並ビニ

四川省人ノ組織セル万県委員会等ニ関スル件

付記 英艦万県砲撃事件(昭和元年末亜細亜二課議會調書抜粋)

公第一二四一号

(十一月十三日接受)

大正十五年十一月二日

在支那

特命全權公使 芳沢 謙吉(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

万県事件調査委員派遣ニ関スル件

万県事件実地調査ノ件ニ関シ外交部沈秘書ノ当館員ニ内話スル所ニ依レハ政府委員トシテ外交部ヨリ史悠明、馮執正、陸軍部ヨリ雷鶴春ノ三名ヲ派遣スルコトニ決定シ又当地ニ在住セル四川省人ニヨリ組織セラレタル万県委員会ニ於テハ右政府調査委員ノ外ニ同会ヨリ万案調査団委員トシテ張知競、王猷、張潔、王夏、薛仲良、陳燦煌、劉昌言ノ七名ヲ選出シ政府委員ト共ニ四川ニ派遣スヘシトノコトナ

一〇 雜件 1104

一二〇四 十月十七日

在重慶後藤領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

楊森ハ雲陽丸ノ民船沈没事件ニ関シ我方ノ

迅速公正ナル態度ニ満足ヲ表シ何軍長ニ円満

解決方電命ノ件

第五二号

(十月二十一日接受)

往電第五一号ニ関シ

軍艦保津ノ無線電信ニ依レハ今回雲陽丸カ衝突沈没セシメタル民船ハ援岳軍第一軍長何金鰲ノ部隊ヲ搭載シ居レル処楊森ハ我方ノ迅速且公正ナル態度ニ大ニ満足ノ意ヲ表シ直ニ宜昌ニアル何軍長ニ対シ本件ヲ円満ニ解決シテ不当ノ要求又ハ不法ノ態度ニ出スル事無キ様電命シタル趣ナリ尚今般宜陽丸カ忠州ヲ通過スルニ当リ支那軍隊ノ為不法射撃ヲ受ケタルカ(何等被害ナシ)本件ニ関シテモ楊森ハ直ニ同地守備隊長ニ打電シ其ノ不法射撃ヲ詰責スルト同時ニ我カ方ニ対シ遺憾ノ意ヲ表シ各地駐屯軍ニ電命シ今後決シテ斯ル不法行為ニ出テシメサル様取締ルヘキ旨ヲ嚴命シタル趣ナリ

在支公使、漢口、宜昌ヘ転電セリ

リ尚万案委員会カ該調査団ヲ派遣スルニ至リタルハ十月二十七日同委員会ノ主催セル前記政府派遣員送別会ノ席上選舉決定シタルモノノ由ニテ其ノ趣旨等ハ去月二十九日及本月一日ノ当地新聞ニ掲載アルニ付御参考ノ為メ別紙切抜ヲ添付ス(但シ漢口、成都、重慶、宜昌ニハ別紙切抜ヲ省略ス)

本信写送付先 成都 重慶 宜昌 漢口

編註 別紙省略

(付記)

(昭和元年末亜細亜二課議會調書抜粋)

英艦万県砲撃事件

(一) 事件ノ発端(英船ノ支那民船浪沈事件)

大正十五年八月二十九日討賊連軍川軍第一路總司令楊森ニ直屬スル憲兵ノ一部カ雲安塩廠ヘ納付スヘキ塩税八万五千元ヲ万県ニ現送セムトシ三隻ノ民船ニ分乗シ雲陽県ニ於テ船待中英國汽船会社太古洋行所屬船万流号入港シタルヲ以テ中一隻ハ逸早く同船ニ至リ約三十名ノ兵士強制的ニ乗船シタル上他ノ二隻ノ民船モ同船ニ近ツキ支那人買弁ニ対シ其ノ乗船方ヲ交渉中万流号ハ之ヲ顧ミスシテ出航シタル為

一四五九

メ取残サレタル民船二隻ハ波浪ノ為メ沈没シ兵士五十余名溺死セリ

右ノ報ニ接スルヤ楊森總司令ハ万流号ノ万県ニ入港スルヲ俟チ同地検査処ヨリ武装兵数名ヲ派シテ同船ヲ取調ヘシメムトシタルカ急報ニ依リ在泊中ノ英砲艦「コックチエーファ」艦長ハ水兵数名ヲ同船ニ派シ雲陽県ヨリ強制乗給セル支那兵及検査処ノ派遣シタル武装兵ヲ下船セシムルト共ニ該武装兵ノ携ヘタル小銃及彈藥ヲ没収セリ右ニ對シ支那側ハ甚シク感觸ヲ害シ折柄同地ニ在リシ楊森所屬ノ支那軍隊ハ對岸ニ散兵シテ万流号ノ出港ヲ阻止セムトスルノ態度ヲ示シタルニ依リ「コックチエーファ」ハ機關銃ヲ以テ水面ニ向ケ威嚇ノニ發砲シ支那兵ノ逃走スルヲ見テ万流号ハ其隙ニ乘シ遡航ヲ続ケタリ

(二) 楊森ノ報復手段(英船ノ抑留)

茲ニ於テ楊森ハ頗ル憤慨シ万県江岸一帶ニ軍隊ヲ配置シ砲四門ヲ据エテ万一二備ヘ上流各地江岸駐屯軍隊ニ對シ万流号ノ武力の拘留ヲ電命スルト共ニ同日万県ニ入港セル英國船万通及万県両号(太古洋行所屬)ニ百余名ノ兵ヲ派シテ之ヲ拘留シ英國砲艦トノ一切ノ交通ヲ遮断セリ英艦コック

キ金額ヲ供託スルコト

之ニ對シ楊森ハ

一、損害銀四十萬元ヲ賠償スルコト

二、拿捕兩英船及コックチエーファ艦長ヲ(懲)罰スルコト

三、英國汽船航行中客船及郵便船ニ会シタル時ハ二十分間

停船スルコト

四、英國政府ヨリ右三項ヲ正式承認スルコト

等ノ反對要求ヲ出シテ極メテ挑戰の態度ニ出テタルヲ以テ交渉纏マルニ至ラサリキ

(三) 英艦ノ万県砲撃

斯クノ如クニシテ楊森ノ態度ハ遂ニ改メラレス拿捕英船及万県碇泊中ノ英砲艦ノ地位危險ナルニ鑑ミ九月五日夜英國海軍ハ拿捕兩船中ノ船員ヲ救出シ為シ得レハ兩船ヲ奪還シテ宜昌ニ回航セシムル目的ヲ以テ漢口碇泊中ノ英巡洋艦「デスパッチ」副長「ダーレー」中佐ヲ指揮官トスル派遣隊ヲ組織シ之ヲ宜昌ニ於テ特ニ備給シテ武装セル汽船嘉禾(英汽船会社怡和洋行所屬)ニ乗組マシメ砲艦「ウイジョン」「コックチエーファ」二隻ノ掩護ノ下ニ万県ニ赴カシメタリ

チエーファ艦長ハ三十一日楊森ニ對シ拘留兩船ヨリ支那兵ヲ二十四時間内ニ下船セシムルコト及兩船ノ釈放ヲ要求シ応セサル場合ニハ万県市街ヲ砲撃ス可キ旨ノ最後通牒ヲ發シテ威嚇セルモ楊森ノ態度強硬ニシテ前記民船ノ浪沈ニ因リ部下数十名ヲ失ヒタル上同船ニアリタル塩税及多数ノ武器ヲ流失シタルヲ以テ英艦側ニ於テ之ヲ解決セサル限り拿捕兩船ヲ解放シ得スト為シ英艦トノ商議ヲ拒絶セリ

右事件ノ報告ニ接スルヤ在北京英國公使ハ直チニ漢口英國總領事ヲ通シ吳佩孚ニ對シ楊森ニ其ノ兵士ヲ拘留英船ヨリ下船セシムル様訓電方ヲ要求シタルモ楊ハ事件ノ真相如何ニ拘ラス英國側ヨリ賠償ヲ得ルコトヲ條件トスルニ非サレハ拿捕英船ヨリ軍隊ヲ撤退セスト主張シ依然頑強ナル態度ニ出テタリシヲ以テ同公使ハ右報告ニ接スルヤ九月一日在重慶領事ヲシテ万県ニ赴カシメ楊ト次ノ條件ニテ直接談判セシメタリ

一、民船沈没事情ノ調査

二、英船員ノ釈放及支那兵ノ撤退並万流到着迄拿捕船ヲ英砲艦ニ監視セシムルコト

三、裁判所又ハ仲裁裁判ノ決定アル迄相互ニ協定セラルヘ

斯クテ嘉禾及掩護英艦カ万県号ニ接近スルヤ忽チ陸上及万県号ノ支那兵ト猛烈ナル砲火ヲ開キ交戦約一時間ニ及ヒ其間英艦ハ遂ニ万県市街ニモ砲撃ヲ加ヘタル後薄暮英兩艦及嘉禾号ハ抑留兩船ヲ放棄シ陸上ノ支那兵ニ砲撃ヲ加ヘツツ下航シ宜昌ニ引返シタリ

英艦ノ砲撃ニ依リテ万県市街ニケ所ニ火災ヲ起シ数十戸ヲ焼キ何レモ目抜ノ場所トテ大混乱ヲ來シ支那側軍民ノ死傷者数百名ニ達シタルカ英國側ニ於テモ死者士官三名水兵五名ヲ出シ派遣隊指揮官「ダーレー」中佐モ戦死シ其ノ死骸ハ万県号ニ遺棄スルノ已ムヲ得サルニ至リ万県万通兩船ノ乗組英國人ハ全部救出シ得タルモ万通号ノ機關長ハ溺死シ兩船ノ奪回ハ全ク失敗ニ了ハレリ

(四) 在留邦人保護ニ関スル帝國領事ノ措置

前記ノ如ク万県ニ於ケル楊森及英國側ノ交渉ニ際シ英艦長ハ楊森ニ於テ拘留兩船ヨリ支那兵ヲ撤退シ及之ヲ釈放スルヲ拒ムニ於テハ万県市街ヲ砲撃ス可キ旨ノ最後通牒ヲ以テ威嚇スルト共ニ万一ノ場合同地本邦在留民ノ安全ヲ期スル為メ在泊帝國軍艦ニ之ヲ避難セシメラレ度旨同艦長ヨリ同地碇泊中ノ帝國軍艦勢多ニ通告シ來レルヲ以テ伊知地万県

出張員ハ勢多艦長ト協議シ八月三十一日在留民十六名ヲ同艦ニ避難セシメ家財ハ民船ニテ安全地帯ニ運搬セシムルノ措置ヲ講スルト共ニ楊森ニ対シ邦人避難後ニ於ケル財産ノ保護方ヲ依頼シタルニ責任ヲ以テ保護スヘキ旨ノ快諾ヲ得タリ

然ルニ九月一日在重慶英國領事万県ニ赴キテ楊森ト交渉ヲ開始シ形勢重大ナルモ俄カニ危険起ル可クモ見エス且砲撃開始前ニハ予メ通告スヘキ旨英艦長ノ約束アリシヲ以テ二日在留民ヲ下艦帰宅セシメタルカ前記ノ如ク五日夜ニ至リ英支間ニ突如砲撃開始セラレ而モ其際英艦長ヨリ何等ノ予告無カリシヲ以テ邦人在留民ヲ避難セシムルノ違無ク其ノ安否危マレタルモ日清汽船事務所カ砲彈ノ為メ破壊セラレタル外無事ナルヲ得タリ

其後英艦四隻宜昌ヨリ更ニ強行遡江シ再ヒ万県ヲ襲撃ス可シトノ情報伝ハリ楊森ハ江ノ兩岸ニ軍隊ヲ配置シテ之ニ備フルニ至リタルヲ以テ万一ヲ考慮シ七日夜在留邦人ヲ再ヒ勢多ニ避難セシメ又同地在留英國人九名ヲモ同時ニ收容セリ是等避難民ハ其後人心ノ沈静ヲ俟チ二十日下船帰宅セシメタリ

四挺同彈丸八百、歩兵銃五十六挺同彈丸千六百、兵士十三名馬四頭米七十二素銀二千四百元行李十三個ト称ス然ルニ(不明)ノ供述(供述書ヲ徴シアリ)ニ依リテ日清側ノ認め得ル軍隊側損出ハ馬夫一名馬四頭箱三個(中味不明)ニ過キス茲ニ双方ノ所見相離ルル事遠ク此儘ニテハ示談困難トス依テ枹谷ヲシテ万県日清駐在員ニ依リ楊森ト意思疏通シアルヲ幸同駐在員ヲシテ右何軍長ノ根拠トスル調査報告ノ誇大ナルヲ指摘シテ好意的諒解ヲ求メ此ノ際何軍長ヲシテ不当ノ要求ヲ撤回シ円満ニ示談セシムル様懇懇スル書面ヲ自ラ認メテ速ニ特使ヲ何軍長ニ派スル様依頼セシムル事ノ可否ニ付本官ノ意向伺ヒ出テタルニ対シ同意ヲ与ヘ置キタリ御含ヲ請フ

尚民船側ハ損害二千五百弗ト切り出シタルカ民船組合長ノ尽力ニテ結局(脱?)弗ニ譲リ之以上減額ノ余地無キ見込ニテ枹谷ヨリ本社へ稟請中

在支公使へ転電シ漢口、重慶へ暗送セリ

二二〇七 十一月十二日

在宜昌浦川領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

民船沈没事件ハ軍隊側ノ折衝ト切離シ日清汽

一〇 雜件 二二〇六 二二〇六

尚前記五日夕ノ交戦中軍艦勢多ハ艦首ニ近ク砲彈二個落下シ其他流彈十數發付近ニ落下セシモ損傷無ク又在泊中ノ仏艦「ドーダー・ドラグリ」ハ英艦ニ近カリシ為メ流彈多數命中シタルモノノ如ク同艦長ハ英艦カ無警告ニテ市街ヲ砲撃セル横暴ヲ甚シク憤慨シ居リタルカ同夜万県市街ノ慘状甚シキヲ見ルヤ居留民ノ運命モ氣遣ハレタルヲ以テ勢多艦長ハ仏艦長ト連名ニテ英艦ニ対シ人道上砲撃中止ヲ希望スル旨通シタルニ六日英艦ヨリハ人道問題ハ考慮セルモ砲撃中止ハ言明シ得サル旨回答アリタリ

二二〇六 十一月七日

在宜昌浦川領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

雲陽丸ノ中國民船沈没事件ノ被害調査ニ関シ

日清、楊森間ノ意見懸隔ノ件

第五九号

(十一月十三日接受)

往電第五五号ニ関シ

何軍長ハ日清側ノ誠意ニ満足ノ意ヲ表シ所在部下ヲシテ断シテ不穩ノ行動ニ出テシメサル事且双方ニ於テ被害状況調査ノ上討議ニ依リ交渉解決スル事ヲ日清枹谷主任ニ約シ順調ニ推移シ居タルカ十月三十日何軍長申出ノ被害數ハ拳銃

船ヨリ救恤金交付スルコトニテ結了シタル件

第六三号

(十一月十四日接受)

往電第五九号末段民船側ハ会社ノ荏苒決セサルニ疑惑ヲ起シ八日初メテ当館ニ嘆願書ヲ提出シ来リタルカ此ノ軍隊側ノ折衝ト切離シ速急解決スルヲ得策ト認メ十一日当館ノミナラス民船組合長立合ヒ結局救恤金トシテ会社ヨリ八百弗ヲ交付スルコトトシ(当日五百弗交付、三百弗ハ本官保証ノ下二十日以内ニ交付ヲ約シ軍隊側トノ折衝ニ要スレハ船主ヲ証人トスル積リナリ)円満結了セリ尚右船主ノ当館ニ提出セル願書記載ニ依ルモ軍隊側ノ損失ハ会社ノ徴シ居ル供述書ニ同シ

北京へ転電シ、漢口、重慶へ暗送セリ

二二〇八 十一月十八日

在長沙枹谷領事ヨリ
幣原外務大臣宛

長沙ニ於テ万県事件ニ対スル国民党支部等ニ

ヨル追悼会及ビ示威運動状況報告ノ件

公信第二五七号

(十二月八日接受)

大正十五年十一月十八日

在長沙

一四六三

領事 糟谷 廉二(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

万県事件ニ関シ追悼会及同遊街示威

運動大会状況報告ノ件

革命軍ノ成功ニツレ国民党ノ排英運動ハ益々激烈トナリ万県事件ニ対スル示威運動ハ既ニ本年九月二十七日行ハレタルニ不拘又々国民党省党部、市党部、及各級党部ノ提唱ニテ盛大ナル追悼会並ニ遊街大会ヲ開催スヘク本月十二日来湖南援助万案委員会ヲ組織シ十六日ニハ省教育会ニ於テ追悼会ヲ十七日ハ遊街示威運動ヲ舉行シ各界ニ対シ強制的ニ参加ヲ要求シタルヲ以テ今次ノ遊街ハ從來ニ比シ頗フル大規模ニ行ハレタリ

一、追悼会

例ニ依リ省教育会広場ニ祭壇ヲ設ケ十六日午後一時ヨリ追悼会ヲ舉行セルカ当日参列者ハ省政府主席代理総参謀長張翼鵬及各庁長各機関ノ文武官吏並ニ国民党省党部、市党部、及各級党部員各公私団体員各学校教職員学生代表等参列ノ上鄭重嚴肅裡ニ舉行サレタル後一同ハ「打倒英国帝国主義」「不買英国貨」「不座英国船」等ヲ高唱

シ散会シタルカ参列団員ハ帰途隊伍ヲ組ミ前記標語ノ外更ニ「廢除中英間一切不平等条約」「抗争万県惨案」等ヲ高呼シツツ氣勢ヲ昂ケタリ

一、罷市

湖南援助万案委員会ハ弔意ヲ表スル為メ十七日全市ノ罷業実行ヲ宣言シタルヲ以テ当日ハ市中全部門ヲ鎖シ学校ハ休業シ小商人ノ外一切ノ取引中止セラレタリ

一、遊街

当日遊街参加ノ為メ省教育会ニ集合シタル団体ハ總指揮部、各庁員ヲ初メ湖南省党部、長沙県党部、市党部、各級党部、雪恥会、湖南省農民協會、近郊農協分会、總工會、人力車工会、各学校教職員学生等總計五百余団体ニシテ其數無慮二万余人ニ達セリ

午前八時各団体集合スルヤ遊街總指揮省党部員李惠迪ハ奏樂中ニ国旗党旗孫總理ノ写真並ニ万県事件ノ被難靈位ニ三拜ノ後遺囑ヲ讀上ケ次テ援助万案委員会委員長席省党部員郭亮ハ英帝国主義ノ不法万県事件ノ横暴ニツキ激越ナル演説ヲ為シ次テ群衆ハ各種ノ標語ヲ高唱シ遊街ニ移レリ衛戍司令部ヨリ派遣ノ軍隊一排ヲ先頭ニ国旗党旗

之ニ次キ「湖南人民援助万案示威運動」ト書セル大旗ヲ押立テ省政府軍隊、長沙女子師範花團隊、万県被難同胞雲輦、省党部、各学校、各団体等ノ順序ニテ進行シ又各団体ハ団体旗及色紙製ノ四角三角ノ小旗ヲ所持シ途中各種ノ伝單ヲ散布シタルカ当方入手シタル分ニテモ実ニ三十七種ノ多キニ達シ如何ニ排英宣傳ニ努メタルカヲ察知シ得ヘシ遊街団ハ予想外ニ増加セル為メ予定ノ順路ヲ變更一部迂回延長シタル為メ順路ハ二里余ニ達シ一地点ヲ通過スルニ二時半ヲ要スル状態ニシテ先頭ハ午後二時

省教育会ニ歸着セルモ尚後方部隊ハ出發シ居ラサル有様ナリ同遊街団ノ標語ハ各団各種ニ定メラレタルモ「反對英帝国主義進攻革命運動」「反對英艦自由行駛内河」「撤退駐華英艦」「繼續對英經濟絕交」「抗争万県惨案」「援助万県惨案」「援助万案一律罷市」「取消中英間一切不平等条約」「打倒英国帝国主義」等ヲ高唱スル者多ク斷髮女学生等ノ熱狂の態度及長沙勞工会、近郊農協分会等カ棍棒及天秤棒ヲ携帯セルハ特ニ人目ヲ惹ケリ

一、英国領事ニ対スル抗議

湖南援助万案示威大会主席郭亮外七名ノ代表ハ当日英国

領事ヲ往訪シ湖南三千万人民ノ万県事件ニ対スル激昂ヲ述ヘ抗議書ヲツキツケ辞去シタリ

尚ホ遊街取締トシテハ先頭ニ一排ノ軍隊アルノミナルモ各団体ニ糾察隊ヲ付シ案外ニ秩序ヲ維持サレタリ遊街団当館前ヲ通過スルコトトテ衛戍司令部ヨリ一排ノ兵ヲ警察署ヨリ巡警十名ヲ派シテ警衛ニ任セシメタリ当館ニ於テハ側杖ヲ喰ハサル様子メ在留民ニ対シ嚴重警戒シタルカ内外共幸ニ何等事故發生セサリキ(別紙伝單ハ本省ノ外添付セス)

本信写送付先 在支公使、漢口、上海、広東、重慶各領事官

(3) 宣統帝ノ動靜

一二〇九 一月二十日 在中国芳沢公使ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)

旧宣統帝ヲ大連ニ連レ出ス陰謀ニ日本人関与ノ旨外交総長談話ノ件

付記 宣統帝ノ動靜(大正十四年十二月調)

第三九号

(一月二十一日接受)

本使発在天津總領事宛電報第六号